

## 基本計画書

基本計画										
事項	記入欄							備考		
計画の区分	研究科の専攻の設置									
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジン リュウキョウダイガク 国立大学法人 琉球大学									
フリガナ大学の名称	リュウキョウダイガクダイガクイン 琉球大学大学院 (University of the Ryukyus Graduate School)									
大学本部の位置	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地									
大学の目的	本学は、「自由平等、寛容平和」という建学の精神を継承・発展させて、「真理の探究」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追究」を基本理念とし、これに基づき、「地域特性に根ざした国際性豊かなアジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点大学」を目指す。									
新設学部等の目的	社会が工学系に求めている学术界の高度研究人材と産業界が求める先端実務人材の量的拡大と質的充実を図るとともに、国際社会に貢献できる人材を養成する。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	理工学研究科 [Graduate School of Engineering and Science] 工学専攻 [Engineering] (博士前期課程)  計	2年	93人	—年次人	186人	修士(工学)	令和3年4月第1年次	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地		
		【基礎となる学部】工学部 14条特例の実施								
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	大学院理工学研究科 機械システム工学専攻(博士前期課程) [廃止] (△27) 環境建設工学専攻(博士前期課程) [廃止] (△24) 電気電子工学専攻(博士前期課程) [廃止] (△24) 情報工学専攻(博士前期課程) [廃止] (△18) ※令和3年4月学生募集停止									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数				
	理工学研究科 工学専攻(博士前期課程)	講義	演習	実験・実習	計	30単位				
		90科目	20科目	6科目	116科目					
教	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等	
				教授	准教授	講師	助教	計	助手	
新設分	理工学研究科 工学専攻(博士前期課程)			31人 (31)	34人 (34)	0人 (0)	11人 (11)	76人 (76)	0人 (0)	1人 (1)
	計			31 (31)	34 (34)	0 (0)	11 (11)	76 (76)	0 (0)	1 (1)
既	人文社会科学研究所 総合社会システム専攻(博士前期課程)			24 (24)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	38 (38)	0 (0)	0 (1)
	人間科学専攻(博士前期課程)			17 (17)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	28 (28)	0 (0)	0 (0)
	国際言語文化専攻(博士前期課程)			20 (20)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	29 (29)	0 (0)	0 (0)
	比較地域文化専攻(博士後期課程)			16 (16)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	0 (0)
	観光科学研究科 観光科学専攻(修士課程)			10 (10)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)
	教育学研究所 高度教職実践専攻(教職大学院)			9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)
	医学研究所 医科学専攻(修士課程)			33 (33)	25 (25)	0 (0)	69 (69)	127 (127)	0 (0)	0 (0)

組 織 設 の 概 要	医学専攻（博士課程）	33 (33)	25 (25)	0 (0)	69 (69)	127 (127)	0 (0)	0 (0)
	保健学研究科 保健学専攻（博士前期課程）	13 (13)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)
	保健学専攻（博士後期課程）	13 (13)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)
	理工学研究科 数理科学専攻（博士前期課程）	8 (8)	6 (6)	0 (0)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	0 (0)
	物質地球科学専攻（博士前期課程）	15 (15)	8 (8)	2 (2)	2 (2)	27 (27)	0 (0)	0 (0)
	海洋自然科学専攻（博士前期課程）	20 (20)	19 (19)	1 (1)	4 (4)	44 (44)	0 (0)	0 (0)
	生産エネルギー工学専攻（博士後期課程）	24 (24)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	35 (35)	0 (0)	0 (0)
	総合知能工学専攻（博士後期課程）	26 (26)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	39 (39)	0 (0)	0 (0)
	海洋環境学専攻（博士後期課程）	26 (26)	16 (16)	0 (0)	0 (0)	42 (42)	0 (0)	0 (0)
	農学研究科 亜熱帯農学専攻（修士課程）	27 (27)	26 (26)	0 (0)	4 (4)	57 (57)	0 (0)	0 (0)
	法務研究科 法務専攻（法科大学院）	9 (9)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	15 (15)
	グローバル教育支援機構	9 (9)	7 (7)	8 (5)	5 (5)	29 (29)	0 (0)	0 (0)
	研究推進機構	1 (1)	0 (0)	2 (2)	6 (6)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
	地域連携推進機構	1 (1)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)
	亜熱帯島嶼科学超域推進機構	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	大学評価IRマネジメントセンター	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	熱帯生物圏研究センター	8 (8)	10 (10)	0 (0)	5 (5)	23 (23)	0 (0)	0 (0)
	島嶼地域科学研究所	3 (3)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	5 (5)	0 (0)	0 (0)
	研究基盤センター	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	総合情報処理センター	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
博物館（風樹館）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
教職センター	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	
ジェンダー協働推進室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
分	計	366 (366)	230 (230)	15 (15)	169 (169)	780 (780)	0 (0)	15 (15)
要	合計	397 (397)	264 (264)	15 (15)	180 (180)	856 (856)	0 (0)	16 (16)
教員以外の職員の概要	職 種	専 任		兼 任		計		
	事 務 職 員	人		人		人		
		321 (321)		0 (0)		321 (321)		
	技 術 職 員							
		125 (125)		0 (0)		125 (125)		
図 書 館 専 門 職 員								
	15 (15)		0 (0)		15 (15)			
そ の 他 の 職 員								
	20 (20)		0 (0)		20 (20)			
計	481 (481)		0 (0)		481 (481)			

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	537,770 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	537,770 m <sup>2</sup>					
	運 動 場 用 地	93,280 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	93,280 m <sup>2</sup>					
	小 計	631,050 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	631,050 m <sup>2</sup>					
	そ の 他	5,949,449 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	5,949,449 m <sup>2</sup>					
合 計	6,580,499 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	6,580,499 m <sup>2</sup>						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
		171,458 m <sup>2</sup> (171,458 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	171,458 m <sup>2</sup> (171,458 m <sup>2</sup> )					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	124 室	161 室	617 室	28 室 (補助職員 人)	7 室 (補助職員 人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数					
		大学全体			651 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	977,132 [299,876]	35,450 [21,224]	13,822 [13,817]	7,715	2,340	280			
		977,132 [299,876]	35,450 [21,224]	13,822 [13,817]	(7,715)	(2,340)	(280)			
	計	977,132 [299,876]	35,450 [21,224]	13,822 [13,817]	7,715	2,340	280			
		977,132 [299,876]	35,450 [21,224]	13,822 [13,817]	(7,715)	(2,340)	(280)			
図 書 館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数				
		11,370 m <sup>2</sup>		1,028 席		1,164,886 冊				
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
		5,473 m <sup>2</sup>		野球場1面		テニスコート10面				
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	教員1人当り研究費等	—	—	—	—	—	—	—		
	共同研究費等	—	—	—	—	—	—	—		
	図書購入費	—	—	—	—	—	—	—		
	設備購入費	—	—	—	—	—	—	—		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		—								
大 学 の 名 称		琉球大学								
学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
【学部】		年	人	年次 人	人		倍			
法文学部										
総合社会システム学科 (昼間主コース)		—	—	—	—	学士(法学、 経済学、政策 科学・国際関 係論)	—	平成9年度	沖縄県中頭郡西原 町字千原1番地	平成30年度より 学生募集停止
総合社会システム学科 (夜間主コース)		—	—	—	—	学士(法学、 経済学、政策 科学・国際関 係論)	—	平成9年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
人間科学科		—	—	—	—	学士(人文社 会)	—	平成9年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
国際言語文化学科 (昼間主コース)		—	—	—	—	学士(人文 学)	—	平成9年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
国際言語文化学科 (夜間主コース)		—	—	—	—	学士(人文 学)	—	平成9年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
人文社会学部										

国際法政学科	4	80	3年次 4	244	学士（法学、 政策科学・国 際関係論）	1.01	平成30年度	同上	
人間社会学科	4	80	3年次 4	244	学士（人文社 会）	1.01	平成30年度	同上	
琉球アジア文化学科	4	40	3年次 2	122	学士（人文社 会）	1.00	平成30年度	同上	
観光産業科学部									
観光科学科	—	—	—	—	学士（観光 学）	—	平成17年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
産業経営学科学科 （昼間主コース）	—	—	—	—	学士（経営 学）	—	平成19年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
産業経営学科学科 （夜間主コース）	—	—	—	—	学士（経営 学）	—	平成19年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
国際地域創造学部									
国際地域創造学科 （昼間主コース）	4	265	3年次 8	803	学士（観光 学、経営学、 経済学、人文 学）	1.00	平成30年度	同上	
国際地域創造学科 （夜間主コース）	4	80	3年次 12	252	学士（経営 学、経済学、 人文学）	1.00	平成30年度	同上	
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	140	—	560	学士（教育 学）	1.02	平成11年度	同上	平成29年度入学 定員増（40人）
生涯教育課程	4	—	—	—	学士（教育 学）	—	平成11年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
理学部									
数理科学科	4	40	—	160	学士（理学）	1.00	平成8年度	同上	
物質地球科学科	4	65	—	260	学士（理学）	1.05	平成8年度	同上	
海洋自然科学科	4	95	—	380	学士（理学）	1.02	平成8年度	同上	
医学部									
医学科	6	112	2年次 5	697	学士（医学）	1.00	昭和54年度	沖縄県中頭郡西原 町字上原207番地	令和2年度入学 定員増（12人）
保健学科	4	60	—	240	学士（保健 学）	1.00	昭和56年度	同上	
工学部									
機械システム工学科 （昼間主コース）	—	—	—	—	学士（工学）	—	平成5年度	沖縄県中頭郡西原 町字千原1番地	平成29年度より 学生募集停止
機械システム工学科 （夜間主コース）	—	—	—	—	学士（工学）	—	平成5年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
環境建設工学科	—	—	—	—	学士（工学）	—	平成5年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
電気電子工学科 （昼間主コース）	—	—	—	—	学士（工学）	—	平成5年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
電気電子工学科 （夜間主コース）	—	—	—	—	学士（工学）	—	平成5年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
情報工学科	—	—	—	—	学士（工学）	—	平成5年度	同上	平成29年度より 学生募集停止
工学科	4	350	3年次 20	1440	学士（工学）	1.02	平成29年度	同上	
農学部									
亜熱帯地域農学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.00	平成21年度	同上	

既設大学等の状況	亜熱帯農林環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.01	平成21年度	同上		
	地域農業工学科	4	25	—	100	学士（農学）	1.01	平成21年度	同上		
	亜熱帯生物資源科学科	4	45	3年次 5	190	学士（農学）	1.00	平成21年度	同上	平成29年度入学 定員増（10人）	
	【大学院】										
	人文社会科学研究科										
	〈博士前期課程〉										
		総合社会システム専攻	2	17	—	34	修士（法学、政治学、経済学、経営学、社会学、教育学、心理学、哲学、文学、歴史学、地理学、言語科学、学術）	0.26	平成13年度	同上	
		人間科学専攻	2	16	—	32		0.43	平成13年度	同上	
		国際言語文化専攻	2	12	—	24		0.79	平成13年度	同上	
	〈博士後期課程〉										
		比較地域文化専攻	3	4	—	12	博士（学術）	1.08	平成18年度	同上	
	観光科学研究科										
	〈修士課程〉										
		観光科学専攻	2	6	—	12	修士（観光学）	0.24	平成21年度	同上	
	教育学研究科										
	〈修士課程〉										
		学校教育専攻	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成2年度	同上	令和2年度より 学生募集停止
		特別支援教育専攻	2	—	—	—		—	平成18年度	同上	平成31年度より 学生募集停止
		教科教育専攻	2	—	—	—		—	平成2年度	同上	令和2年度より 学生募集停止
	〈専門職大学院〉										
		高度教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士（専門職）	0.97	平成28年度	同上	平成31年度入学 定員増（6人）
	医学研究科										
	〈修士課程〉										
	医科学専攻	2	15	—	30	修士（医科学）	0.80	平成16年度	沖縄県中頭郡西原 町字上原207番地		
〈博士課程〉											
	医学専攻	4	30	—	120	博士（医学）	1.02	平成26年度	同上		
保健学研究科											
〈博士前期課程〉											
	保健学専攻	2	10	—	20	修士（保健学）	0.65	昭和61年度	同上		
〈博士後期課程〉											
	保健学専攻	3	3	—	9	博士（保健学）	0.88	平成19年度	同上		
理工学研究科											
〈博士前期課程〉											

機械システム工学専攻	2	27	—	54	修士（理学、工学）	0.82	平成9年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
環境建設工学専攻	2	24	—	48		0.78	平成9年度	同上
電気電子工学専攻	2	24	—	48		1.12	平成9年度	同上
情報工学専攻	2	18	—	36		1.13	平成9年度	同上
数理学専攻	2	10	—	20		0.60	平成10年度	同上
物質地球科学専攻	2	16	—	32		0.78	平成10年度	同上
海洋自然科学専攻	2	26	—	52		0.98	平成10年度	同上
〈博士後期課程〉								
生産エネルギー工学専攻	3	4	—	12	博士（理学、工学、学術）	1.16	平成9年度	同上
総合知能工学専攻	3	3	—	9		1.88	平成9年度	同上
海洋環境学専攻	3	5	—	15		1.73	平成10年度	同上
農学研究科								
〈修士課程〉								
亜熱帯農学専攻	2	35	—	70	修士（農学）	0.78	平成23年度	同上
法務研究科								
〈専門職大学院〉								
法務専攻	3	16	—	48	法務博士（専門職）	0.91	平成16年度	同上

附属施設の概要	<p>名称：国立大学法人琉球大学附属病院          目的：質の高い医療の提供と国際性豊かな医療人材育成          所在地：沖縄県中頭郡西原町字上原207番地          設置年月：昭和56年4月          規模等：土地 50,400 m<sup>2</sup>、建物 45,268 m<sup>2</sup></p>
	<p>名称：国立大学法人琉球大学教育学部附属学校          目的：教育に関する研究ならびにその実証、教育実習とその指導、及び地域の教育研究に協力し研究成果の交流を行うこと          所在地：沖縄県中頭郡西原町字千原1番地          設置年月：昭和56年4月          規模等：土地 65,495 m<sup>2</sup>、建物 12,857 m<sup>2</sup></p>
	<p>名称：国立大学法人琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター（千原）          目的：農学に関する幅広い知識と技術を習得し、社会の変化に柔軟に対応し得る人材を育成すると共に地域農業及び地域社会の発展に貢献すること          所在地：沖縄県中頭郡西原町字千原1番地          設置年月：平成14年4月          規模等：土地 228,700 m<sup>2</sup>、建物 4,115 m<sup>2</sup></p>
	<p>名称：国立大学法人琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター（与那）          目的：農学に関する幅広い知識と技術を習得し、社会の変化に柔軟に対応し得る人材を育成すると共に地域農業及び地域社会の発展に貢献すること          所在地：沖縄県国頭郡国頭村字与那685          設置年月：平成14年4月          規模等：土地 3,192,727 m<sup>2</sup>、建物 1,673 m<sup>2</sup></p>

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の出発定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

教育課程等の概要															
(理工学研究科 工学専攻 (博士前期課程))															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通領域科目	工学の倫理と社会実践	1前	2			○			6	2					※1, オムニパス
	工学特別研究Ⅰ	1前	1.5				○		31	31					
	工学特別研究Ⅱ	1後	1.5				○		31	31					
	工学特別研究Ⅲ	2前	1.5				○		31	31					
	工学特別研究Ⅳ	2後	1.5				○		31	31					
	工学特別演習Ⅰ	1前	1.5				○		31	31					
	工学特別演習Ⅱ	1後	1.5				○		31	31					
	工学特別演習Ⅲ	2前	1.5				○		31	31					
	工学特別演習Ⅳ	2後	1.5				○		31	31					
	国際インターンシップⅠ	1前		2				○	2	4					
	国際インターンシップⅡ	2前		2				○	2	4					
	インターンシップⅠ	1前		1				○	3	5		1			
	インターンシップⅡ	1後		1				○	3	5		1			
	インターンシップⅢ	1前		2				○	3	5		1			
	インターンシップⅣ	1後		2				○	3	5		1			
小計 (15科目)	—		14	10	0	—	—	31	33	0	1	0			
プログラム	材料力学特論	1前		2		○			1						
	塑性力学特論	1前		2		○				1					
	固体力学特論	1前		2		○				1					
	弾性力学特論	1後		2		○			1						
	腐食防食特論	1後		2		○			1						
	材料加工学特論	1後		2		○				1					
	機械基礎工学特論Ⅰ	1前		2		○				1				※2	
	機械基礎工学特論Ⅱ	1後		2		○				1				※2	
小計 (8科目)	—		0	16	0	—	—	3	4	0	0	0			
専門領域	熱工学特論Ⅰ	1前		2		○			1						
	熱工学特論Ⅱ	1後		2		○			1						
	移動現象特論	1前		2		○					1				
	流体力学特論Ⅰ	1前		2		○			1						
	流体力学特論Ⅱ	1後		2		○				1					
	乱流計測学特論	1前		2		○				1					
	伝熱工学特論Ⅰ	1後		2		○				1					
	伝熱工学特論Ⅱ	1後		2		○				1					
	流体機械学特論	1後		2		○				1					
	多相多成分系の物理化学	1後		2		○					1				
	機械基礎工学特論Ⅰ	1前		2		○				1				※2	
	機械基礎工学特論Ⅱ	1後		2		○				1				※2	
小計 (12科目)	—		0	24	0	—	—	3	4	0	2	0			
科目	ソフト制御工学特論	1前		2		○			1						
	自己組織系特論	1前		2		○			1						
	制御数理特論	1前		2		○				1					
	機械信号処理工学特論	1後		2		○				1					
	知的制御工学特論	1後		2		○				1					
	機械基礎工学特論Ⅰ	1前		2		○				1				※2	
	機械基礎工学特論Ⅱ	1後		2		○				1				※2	
小計 (7科目)	—		0	14	0	—	—	2	4	0	0	0			
御電 ブ 電 気 機 器 エ ネ ル ギ ー ・ シ ス テ ム 制	電力エネルギー変換工学特論	1前		2		○						1			
	電気機器工学特論	1前		2		○			1						
	磁気物性工学特論	1前		2		○				1					
	医用電子工学特論	1前		2		○			1						
	相対論的電磁気学特論	1前		2		○						1			
	電力システム解析特論	1後		2		○				1					
	パワーエレクトロニクス特論	1後		2		○			1						
	プラズマ工学特論	1後		2		○			1						
	非線形制御特論	1後		2		○				1					
	現代制御特論	1後		2		○				1					
小計 (10科目)	—		0	20	0	—	—	4	4	0	2	0			

電子システム・デバイスプログラム	薄膜材料工学特論	1前		2		○			1						
	量子計算機工学特論	1前		2		○				1					
	VLSIシステム設計特論	1前		2		○				1					
	光デバイス計測工学特論	1前		2		○						1			
	ディペンダブルシステム特論	1前		2		○			1						
	無線通信システム特論	1前		2		○				1					
	画像処理工学特論	1前		2		○				1					
	情報通信論	1前		2		○									兼1
	半導体工学特論	1後		2		○			1						
	真空工学特論	1後		2		○						1			
	有機エレクトロニクス工学特論	1後		2		○				1					
	信号処理システム特論	1後		2		○			1						
	再構成型アーキテクチャ特論	1後		2		○						1			
小計 (13科目)	—	0	26	0	—			4	5	0	3	0	兼1		
社会基盤デザインプログラム	鋼構造物設計工学特論	1前		2		○			1						
	連続体力学特論	1前		2		○			1						
	流体数値解析特論	1前		2		○						1			
	地盤環境工学特論	1前		2		○				1					
	地域計画特論	1前		2		○			1						
	環境防災計画学特論	1前		2		○				1					
	鋼構造物診断工学特論	1後		2		○						1			
	コンクリートの材料科学特論	1後		2		○						1			
	河川工学特論	1後		2		○					1				
	岩盤力学特論	1後		2		○			1						
	数値計算力学特論	2前		2		○			1						
	小計 (11科目)	—	0	22	0	—			5	3	0	3	0		
	建築学プログラム	建築設計技術者倫理	1前	2			○								
建築設計意匠特論		1前		2		○				1					
都市計画特論		1前		2		○				1					
構造解析学特論		1前		2		○				1					
防災設計特論		1前		2		○			1						
コミュニティ空間計画特論		1後		2		○			1						
環境騒音特論		1後		2		○				1					
建設材料学特論		1後		2		○			1						
建設データマイニング特論		1後		2		○				1					
建築設計スタジオⅠ		1前		2			○			1					
建築設計スタジオⅡ		1後		2			○			1					
建築設備設計実務演習		1前		2			○			1					
建築構造設計実務演習Ⅰ		1前		2			○		1						
建築構造設計実務演習Ⅱ	1後		2			○			1						
建築設計実務演習Ⅰ	1前		2			○			1						
建築設計実務演習Ⅱ	1後		2			○			1						
建築設計実務演習Ⅲ	2前		2			○			1						
建築法令制度実務特論	1後		2			○			1						
建築材料計画実務特論	1後		2			○		1							
建築構造設計実務特論	1後		2			○			1						
小計 (20科目)	—	2	38	0	—			3	5	0	0	0			
知能情報プログラム	ソフトウェア工学特論	1前		2		○				1					
	確率モデル特論	1前		2		○			1						
	人工知能特論	1前		2		○			1						
	知能ロボット特論	1前		2		○			1						
	知能情報処理特論	1前		2		○				1					
	生体情報処理特論	1前		2		○						1			
	プロジェクトマネジメント演習	1前		2			○		1						
	実践演習Ⅰ	1前		2			○		1						
	実践演習Ⅱ	1後		2			○		1						
	実践演習Ⅲ	2前		2			○		1						
	ワイヤレスシステム特論	1後		2			○		1						
	アルゴリズム特論	1後		2			○		1						
	情報ネットワーク特論	1後		2			○			1					
	データマイニング特論	1後		2			○			1					
	マルチメディア情報処理特論	1後		2			○			1					
	UI/UX特論	1後		2			○			1					
	人工社会システム特論	2前		2			○		1						
人間拡張工学特論	2前		2			○		1							
サービス工学特論	2前		2			○		1							
並列処理特論	2後		2			○		1							
小計 (20科目)	—	0	40	0	—			5	6	0	1	0			
合計 (116科目)	—	16	210	0	—			31	34	0	11	0	兼1		



学位又は称号	修士(工学)	学位又は学科の分野	工学関係	
修了要件及び履修方法		授業期間等		
<p><b>【修了要件】</b>            研究科に2年（優れた業績を上げた者は1年）以上在学し、必修科目14単位、選択科目16単位以上の30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p><b>【履修方法】</b>            共通領域科目から、必修科目を14単位修得すること。            選択科目16単位以上のうち、各プログラムの専門領域科目及び各プログラムが指定する関連科目を合わせて10単位以上修得すること（※1「工業の倫理と社会実践」は建築学プログラムにおいては「建築設計技術者倫理」に読み替えることができる。※2機械工学系3プログラムの選択科目には「機械系基礎科目」を含むこと）。</p>		1学年の学期区分	2学期	
		1学期の授業期間	15週	
		1時限の授業時間	90分	



教育課程等の概要【基礎となる学部】															
(工学部 工学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育領域科目	人間と哲学の知	1・2・3・4		2		○									兼2
	人間と世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	思考の論理入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	思考の論理	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋思想とインドの思想	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋思想と日本・中国の思想	1・2・3・4		2		○									兼1
	生き方の探究	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間と倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	環境の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	心の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	心の科学	1・2・3・4		2		○									兼7
	人間関係論	1・2・3・4		2		○									兼5
	アジアの人生観	1・2・3・4		2		○									兼1
	科学技術の倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	生命倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	「私」の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間と宗教	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間観と教育	1・2・3・4		2		○									兼1
	近代日本の社会と表現	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本古典文学の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	文学の楽しみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	小説の社会学	1・2・3・4		2		○									兼1
	ことばの生態	1・2・3・4		2		○									兼1
	ことばの構造と意味	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本語のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本語のはたらき	1・2・3・4		2		○									兼1
	中国古典文学の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	20世紀の中国文学	1・2・3・4		2		○									兼1
	アメリカの文学と社会の誕生	1・2・3・4		2		○									兼1
	アメリカの文学と近代社会	1・2・3・4		2		○									兼1
	歴史を掘る	1・2・3・4		2		○									兼1
	東洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	朝鮮の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	考古学入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	宗教と世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	美術の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	コーラル・アンサンブルの楽しみ	1・2・3・4		2					○						兼1
	楽しく学ぶギター弾き語りⅠ	1・2・3・4		2					○						兼1
	楽しく学ぶギター弾き語りⅡ	1・2・3・4		2					○						兼1
	ステージスタッフ総合活動	1・2・3・4		2					○						兼1
	美術と社会	1・2・3・4		2			○								兼1
	陶芸の世界	1・2・3・4		2			○								兼1
	比較思想文化論	1・2・3・4		2			○								兼1
	日本語研究入門	1・2・3・4		2			○								兼1
	心理学入門Ⅰ	1・2・3・4		1			○								兼1
	心理学入門Ⅱ	1・2・3・4		1			○								兼1
	人文系特別講義Ⅰ	1・2・3・4		2			○								兼1
	人文系特別講義Ⅱ	1・2・3・4		2			○								兼1
	オーケストラの楽しみⅠ	1・2・3・4		2					○						兼1
	オーケストラの楽しみⅡ	1・2・3・4		2					○						兼1
	共生社会にむけたアクセシビリティ	1・2・3・4		2					○						兼1
	アクセシビリティ演習	1・2・3・4		2					○						兼1
小計(54科目)		—	0	106	0	—									兼65
社会系科目	法と社会	1・2・3・4		2		○									兼2
	憲法概論	1・2・3・4		2		○									兼6
	現代政治の課題	1・2・3・4		2		○									兼3
	日本の政治	1・2・3・4		2		○									兼3
	戦争と平和の諸問題	1・2・3・4		2		○									兼1
	地域と生活	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代社会のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼2
	マスコミと社会	1・2・3・4		2		○									兼1
	人類文化の比較	1・2・3・4		2		○									兼7
	現代経済のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼3
	経済の歴史	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代経営のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代流通のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代会計のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	現代経済の諸問題	1・2・3・4		2		○									兼1
	大学教育論	1・2・3・4		2		○									兼2
	教育政策史	1・2・3・4		2		○									兼1
ベンチャー起業入門	1・2・3・4		2		○									兼1	







朝鮮語中級	2・3・4	4				○													兼1
朝鮮語講読	2・3・4	2				○													兼1
朝鮮語演習	2・3・4	2				○													兼1
インドネシア語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4				○													兼1
インドネシア語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4				○													兼1
タイ語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4				○													兼1
タイ語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4				○													兼1
ヴェトナム語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4				○													兼1
ヴェトナム語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4				○													兼1
ヴェトナム語中級	2・3・4	4				○													兼1
ラテン語入門Ⅰ	1・2・3・4	2				○													兼1
ラテン語入門Ⅱ	1・2・3・4	2				○													兼1
ギリシャ語入門Ⅰ	1・2・3・4	2				○													兼1
ギリシャ語入門Ⅱ	1・2・3・4	2				○													兼1
ロシア語入門Ⅰ	1・2・3・4	2				○													兼1
ロシア語入門Ⅱ	1・2・3・4	2				○													兼1
サンスクリット語入門Ⅰ	1・2・3・4	2				○													兼1
サンスクリット語入門Ⅱ	1・2・3・4	2				○													兼1
小計 (78科目)	—	4	192	0		—													兼206
合計 (338科目)		6	712	0		—													兼566
学位又は称号		学士(工学)		学位又は学科の分野		工学関係													
修了要件及び履修方法											授業期間等								
1. 共通教育科目から30単位以上修得すること。											1学年の学期区分				2学期				
(1) 教養領域及び総合領域											1学期の授業期間				15週				
○教養領域の健康運動系科目から2単位以上											1時限の授業時間				90分				
○教養領域(人文系科目2単位上、社会系科目2単位以上、自然系科目)及び総合領域(総合科目、キャリア関係科目、琉大特色・地域創生科目から2単位以上)合わせて14単位以上																			
(2) 基幹領域																			
○情報関係科目(「日本語表現法入門」含む。)2単位以上																			
○外国語科目は「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一外国語4単位以上。又は「大学英語」を含む英語12単位以上																			

教育課程等の概要【基礎となる学部】															
(工学部 工学科 機械工学コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	専修科目	微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1
		微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅱ	1・2・3・4	2			○								兼1
		物理学Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1
		物理学Ⅱ	1・2・3・4	2			○								兼1
		物理学実験	1・2・3・4	1			○								兼1
	小計(5科目)		—	9	0	0	—								兼5
	転換科目	微分積分学入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼1
		微分積分学入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○								兼1
		物理学入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼1
		物理学入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○								兼1
化学入門Ⅰ		1・2・3・4	2			○								兼1	
小計(5科目)		—	2	8	0	—								兼5	
専門教育科目	工学	基礎数学Ⅰ	1前		1		○			2				2	兼2
		基礎数学Ⅱ	1後		1		○			1	2			1	兼1
		工業数学Ⅰ	1前	2			○			4	1			1	
		工業数学Ⅱ	1後	2			○			3	2			1	
		工業数学Ⅲ	2前	2			○			3	2			1	
		工業数学Ⅳ	2後		2		○				1				兼1
		確率及び統計	1・2後	2			○			2	1				兼1
		キャリアデザイン入門	1前	1			○			7	1			1	
		工学基礎演習	1前	2				○		12	15			11	兼1
		キャリアデザイン	3前又は後	2			○			5	6			1	
		技術者の倫理	3後	2			○			10	1				
		エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○		16	23			11	
		プログラミングⅠ	1・2後	2			○				4				兼1
		プログラミングⅡ	2・3前		2		○				3				
		技術英語Ⅰ	3前		2		○			1					
	技術英語Ⅱ	3後		2		○			1						
	技術英語Ⅲ	4前		2		○								兼1	
	知的財産権	3・4前又は後	2			○								兼1	
	品質管理	3・4後	2			○			1					兼1	
	経営工学概論	3・4後	2			○								兼1	
	Frontiers of Engineering	3・4後	2			○			4	3			1		
	産業社会学原論Ⅰ	3・4前又は後	2			○			1						
	産業社会学原論Ⅱ	3・4前又は後	2			○								兼1	
	地域課題解決実践演習	3・4前	2				○		2	1					
	地域創生論	3前	2			○			2	1					
	国際協力論	3後	2			○			2						
	インターンシップⅠ	2・3・4	1					○	3	3			4		
	インターンシップⅡ	2・3・4	1					○	3	3			4		
	インターンシップⅢ	2・3・4	2					○	3	3			4		
	国際インターンシップⅠ	3・4	1					○	2	2					
国際インターンシップⅡ	3・4	2					○	2	2						
工学概論	1後	2			○			9	4						
職業指導(工業)	4前	2			○								兼1		
教職総合演習(情報)	4前	2				○		1							
工業科教育法A	3後	2			○								兼1		
工業科教育法B	4前	2			○								兼1		
情報科教育法A	3後	2			○			1							



		情報科教育法B	4前	2		○		1						
		セミナー I	3・4前	1			○	22	23		14			
		セミナー II	3・4後	1			○	22	23		14			
		卒業研究 I	4前	3			○	29	29		18			
		卒業研究 II	4後	3			○	29	29		18			
		卒業設計又は卒業研究 I	4前	3			○	3	5		2			
		卒業設計又は卒業研究 II	4後	3			○	3	5		2			
		小計 (44科目)	—	25	59	0	—	32	34		20		兼14	
専 門 教 育 科 目	専 門 機 械 工 学 コ ー ス 専 門 科 目	材料力学 I	2前	2			○	1						
		材料力学 II	2後	2			○	1						
		機器設計基礎学	3前	2			○	1	1					
		機器構造学	3・4		2			○	1					
		弾性力学	3・4		2			○		1				
		材料加工学 I	2前	2				○	1	1				
		材料加工学 II	2後	2				○		1				
		機械材料 I	2前	2				○	1					
		機械材料 II	2後	2				○	1					
		溶接工学	3・4		2			○	1					
		高分子合成論	3・4		2			○	1					
		亜熱帯材料学	3・4		2			○	1					
		流体力学 I	2前	2				○	1					
		流体力学 II	2後	2				○	1					
		流体機械学	3前		2			○			1			
		粘性流体力学	3・4		2			○			1			
		高速空気力学	3・4		2			○	1					
		航空工学	3・4		2			○	1					
		熱力学 I	2前	2				○	1					
		熱力学 II	2後	2				○	1					
		伝熱工学	3前	2				○			1			
		熱機関工学	3・4		2			○	1					
		蒸気工学	3・4		2			○			1			
		物質移動工学	3・4		2			○	1					
		計測工学	2後	2				○	1					
		基礎制御工学 I	2後	2				○			1			
		基礎制御工学 II	3前	2				○			1			
		機械力学	3前	2				○			1			
		現代制御理論	3・4		2			○			1			
		信号処理工学	3・4		2			○	1					
		基礎メカトロニクス	3・4		2			○			1			
		機械運動学	3・4		2			○			2			
		ロボット工学	3・4		2			○			1			
情報リテラシー	1前	1				○	1				1			
工業力学	1後	2				○			1					
機械製図	1後	2				○			1		1			
材料加工学実習	2	2					○	1	1					
機械基礎演習	2・3		1					○		1				
機械設計製図 I	3前	1.5						○		1				
機械設計製図 II	3後	1.5						○		2				
機械設計演習	3		1					○	2	4				
機械工学実験 I	3前	1.5						○	2	5	3			
機械工学実験 II	3後	1.5						○	2	5	3			
機械工学特別講義 I	2・3・4前又は後		2				○					兼1		
機械工学特別講義 II	2・3・4前又は後		2				○					兼1		
機械工学特別講義 III	2・3・4前又は後		2				○					兼1		
機械工学特別講義 IV	2・3・4前又は後		2				○					兼1		
機械工学特別講義 V	2・3・4前又は後		1				○					兼1		
機械工学特別講義 VI	2・3・4前又は後		1				○					兼1		
機械工学特別講義 VII	2・3・4前又は後		1				○					兼1		

専 門 教 育 科 目	専 門 入 目	機械工学特別講義Ⅷ	2・3・4前又は後	1	○									兼1		
		小計 (51科目)	—	39	54	0	—		5	6	0	3		兼8		
	工 学 融 合 科 目 ( 導 入 科 目 )	工 学 融 合 科 目 ( 選 択 科 目 )	電気電子工学基礎	3・4前又は後	2	○			1							
			メカトロニクス	3・4前又は後	2	○			1							
			通信工学概論	3・4前又は後	2	○			1							
			基礎流体力学	3・4後	2	○			1							
			橋設計論	3・4前	2	○			1							
			島嶼環境計画論	3・4前	2	○			1							
			道路交通計画	3・4前	2	○					1					
			海底資源工学	3・4後	2	○					1					
			地震工学	3・4後	2	○			1							
			都市地域計画	3・4後	2	○			1							
			居住建築概論	3・4前又は後	2	○			3	3						
			コンピュータサイエンス基礎	3・4前又は後	2	○			1							
			情報システム開発演習	3・4前又は後	2			○			1					
	小計 (13科目)	—	0	26	0	—		12	6	0				0		
	工 学 融 合 科 目 ( 選 択 科 目 )	工 学 融 合 科 目 ( 選 択 科 目 )	パワーエレクトロニクス	3・4後	2	○			1							
			制御工学	3・4前	2	○				1						
			電気電子計測工学I	3・4前	2	○			1							
			電子デバイス工学	3・4前	2	○			1							
プロジェクトマネジメント			3・4後	2	○			1								
維持管理工学			3・4後	2	○			1								
腐食防食と疲労			3・4後	2	○			1				1				
減災計画			3・4後	2	○					1						
環境衛生工学			3・4後	2	○										兼1	
火薬学			3・4前	2	○										兼1	
建築意匠			3・4前	2	○					1						
都市デザイン演習			3・4前	2			○			1						
耐震設計概論			3・4後	2	○					1						
都市および地方計画	3・4前又は後	2	○					1								
公共計画の技術と理論	3・4前又は後	2	○					1								
ネットワークセキュリティ	3・4後	2	○										兼1			
インターネットアーキテクチャ	3・4前	2	○					1								
知能ロボット	3・4後	2	○				1									
データマイニング	3・4後	2	○					1								
小計 (19科目)	—	0	38	0	—		7	9	0	1	0		兼3			
合計 (137科目)				75	185	0	—	5	6		3	0	兼35			
学位又は称号		学士 (工学)		学位又は学科の分野				工学関係								
修了要件及び履修方法							授業期間等									
1. 共通教育科目から30単位以上修得すること。 (1) 教養領域及び総合領域 ○教養領域の健康運動系科目から2単位以上 ○教養領域 (人文系科目2単位上、社会系科目2単位以上、自然系科目) 及び総合領域 (総合科目、キャリア関係科目、琉大特色・地域創生科目から2単位以上) 合わせて14単位以上 (2) 基幹領域 ○情報関係科目 (「日本語表現法入門」含む。) 2単位以上 ○外国語科目は「大学英语」を含む英語8単位以上及び英語以外の一外国語4単位以上。又は「大学英语」を含む英語12単位以上 2. 専門基礎教育の先修科目 (「微分積分学ST I・II」「物理学I・II」「物理学実験」) 及び転換科目「化学入門I」を含む。) 11単位以上修得すること。高等学校等で微分・積分、物理の教科を履修していない学生は、指導教員の認定により転換科目中の「微分積分学入門I・II」「物理学入門I・II」を履修し、それらの単位を先修科目中の「微分積分学ST I・II」「物理学I・II」に読み替えることができる。 3. 専門教育科目から89単位以上修得すること。 (必修) ○工学共通科目から25単位 ○コース専門科目から39単位 (選択) ○工学共通科目及びコース専門科目から21単位以上 ○工学融合科目から4単位以上 4. 共通教育科目・専門基礎教育科目及び専門教育科目で合計130単位以上修得すること。							1学年の学期区分		2学期							
							1学期の授業期間		15週							
							1時限の授業時間		90分							

教育課程等の概要【基礎となる学部】															
(工学部 工学科 エネルギー環境工学コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	先修科目	微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1
		微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅱ	1・2・3・4	2			○								兼1
		物理学Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1
		物理学Ⅱ	1・2・3・4	2			○								兼1
		物理学実験	1・2・3・4	1			○								兼1
		化学実験	1・2・3・4	1			○								兼1
	小計(6科目)		—	10	0	0	—								兼6
	転換科目	微分積分学入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼1
		微分積分学入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○								兼1
		物理学入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼1
		物理学入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○								兼1
		化学入門Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1
		化学入門Ⅱ	1・2・3・4	2			○								兼1
	小計(6科目)		—	4	8	0	—								兼6
専門教育科目	工学	基礎数学Ⅰ	1前		1		○			2				2	兼2
		基礎数学Ⅱ	1後		1		○			1	2		1		兼1
		工業数学Ⅰ	1前	2			○			4	1		1		
		工業数学Ⅱ	1後	2			○			3	2		1		
		工業数学Ⅲ	2前	2			○			3	2		1		
		工業数学Ⅳ	2後		2		○				1				兼1
		確率及び統計	1・2後	2			○			2	1				兼1
		キャリアデザイン入門	1前	1			○			7	1		1		
		工学基礎演習	1前	2				○		12	15		11		兼1
		キャリアデザイン	3前又は後	2			○			5	6		1		
	共通	技術者の倫理	3後	2			○			10	1				
		エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○		16	23		11		
		プログラミングⅠ	1・2後	2			○				4				兼1
		プログラミングⅡ	2・3前		2		○				3				
		技術英語Ⅰ	3前		2		○			1					
		技術英語Ⅱ	3後		2		○			1					
		技術英語Ⅲ	4前		2		○								兼1
		知的財産権	3・4前又は後		2		○								兼1
		品質管理	3・4後	2			○			1					
		経営工学概論	3・4後		2		○								兼1
	専攻	Frontiers of Engineering	3・4後		2		○			4	3		1		
		産業社会学原論Ⅰ	3・4前又は後		2		○			1					
		産業社会学原論Ⅱ	3・4前又は後		2		○								兼1
		地域課題解決実践演習	3・4前		2			○		2	1				
		地域創生論	3前		2		○			2	1				
		国際協力論	3後		2		○			2					
インターンシップⅠ		2・3・4		1				○	3	3		4			
インターンシップⅡ		2・3・4		1				○	3	3		4			
インターンシップⅢ		2・3・4		2				○	3	3		4			
国際インターンシップⅠ		3・4		1				○	2	2					
国際インターンシップⅡ	3・4		2				○	2	2						
目	工学概論	1後		2		○			9	4					
	職業指導(工業)	4前		2		○								兼1	
	教職総合演習(情報)	4前		2			○		1						
	工業科教育法A	3後		2		○								兼1	

		工業科教育法B	4前	2		○								兼1
		情報科教育法A	3後	2		○		1						
		情報科教育法B	4前	2		○		1						
		セミナーⅠ	3・4前	1			○	22	23		14			
		セミナーⅡ	3・4後	1			○	22	23		14			
		卒業研究Ⅰ	4前	3			○	29	29		18			
		卒業研究Ⅱ	4後	3			○	29	29		18			
		卒業設計又は卒業研究Ⅰ	4前	3			○	3	5		2			
		卒業設計又は卒業研究Ⅱ	4後	3			○	3	5		2			
		小計(44科目)	—	27	57	0	—	32	34		20			兼14
専 門 教 育 科 目	専 門 環 境 工 学 科 目	基礎情報処理	1前	2			○	1			1			
		製図基礎	1後	2			○		1		1			
		工業力学	1後	2			○		1					
		材料力学	2前	2			○		1					
		エネルギー材料工学	2前	2			○		1					
		流体工学	2前	2			○			1				
		熱力学	2前	2			○		1					
		電気工学概論	2前	2			○			2		1		
		応用流体工学	2後	2			○			1				
		エネルギー変換工学	2後	2			○			1				
		応用材料力学	2後	2	2		○		1					
		金属材料	2後	2	2		○		1					
		基礎制御工学	2後	2			○		1					
		環境計測工学	2後	2			○			1				
		エネルギー環境工学実験Ⅰ	2後	1				○		5		3		
		環境工学	3後	2				○	1					
		エネルギー環境工学実験Ⅱ	3前	1					○	5		3		
		機械力学	3前	2				○	1					
		プロジェクトマネジメント工学	3前	2				○	1					
		材料加工学	3前	2	2			○	1	1				
		機構学	3・4後	2	2			○		1				
		エネルギー移動工学	3・4後	2	2			○		1				
		環境流体工学	3・4前	2	2			○		1				
		エネルギー流体機械	3・4後	2	2			○		1				
		数値計算	3・4前	2	2			○		1				
		環境経済学	3・4後	2	2			○	2	2				
		蒸気工学	3・4	2	2			○		1				
		エネルギー機器	3・4	2	2			○	1					
		システム要素設計学	3・4前	2	2			○		1				
		腐食防食工学	3・4前	2	2			○		1				
		熱機関工学	3・4前	2	2			○		1				
		エネルギー空調工学	3・4後	2	2			○		1				
		エネルギー機器設計演習	3・4後	1					○		1			
亜熱帯材料学	3・4前	2	2			○		1						
環境教育論	3・4後	2	2			○						兼1		
環境システム制御工学	3・4前	2	2				○		1					
プロジェクトマネジメント演習	4前	1					○	5	5		3			
エネルギー環境工学プロジェクト演習基礎	4後	2	2			○		5	5		3			
エネルギー環境工学特別講義Ⅰ	2・3・4前又は後	2	2			○						兼1		
エネルギー環境工学特別講義Ⅱ	2・3・4前又は後	2	2			○						兼1		
エネルギー環境工学特別講義Ⅲ	2・3・4前又は後	2	2			○						兼1		
エネルギー環境工学特別講義Ⅳ	2・3・4前又は後	2	2			○						兼1		
エネルギー環境工学特別講義Ⅴ	2・3・4前又は後	1	1			○						兼1		
エネルギー環境工学特別講義Ⅵ	2・3・4前又は後	1	1			○						兼1		
エネルギー環境工学特別講義Ⅶ	2・3・4前又は後	1	1			○						兼1		
エネルギー環境工学特別講義Ⅷ	2・3・4前又は後	1	1			○						兼1		
小計(46科目)	—	32	52	0	—	—	5	5		3			兼9	
工		電気電子工学基礎	3・4前又は後	2			○	1						

専 門 教 育 科 目	専 門 入 科 目 （ 導 入 科 目 ）	メカトロニクス	3・4前又は後	2		○		1							
		通信工学概論	3・4前又は後	2		○		1							
		基礎流体力学	3・4後	2		○		1							
		橋設計論	3・4前	2		○		1							
		島嶼環境計画論	3・4前	2		○		1							
		道路交通計画	3・4前	2		○			1						
		海底資源工学	3・4後	2		○			1						
		地震工学	3・4後	2		○		1							
		都市地域計画	3・4後	2		○		1							
		居住建築概論	3・4前又は後	2		○		3	3						
		コンピュータサイエンス基礎	3・4前又は後	2		○		1							
		情報システム開発演習	3・4前又は後	2			○			1					
		小計（13科目）	—	0	26	0	—		12	6	0				0
	工 学 融 合 科 目 （ 選 択 科 目 ）	パワーエレクトロニクス	3・4後	2		○		1							
		制御工学	3・4前	2		○			1						
		電気電子計測工学I	3・4前	2		○		1							
		電子デバイス工学	3・4前	2		○		1							
		プロジェクトマネジメント	3・4後	2		○		1							
		維持管理工学	3・4後	2		○		1					1		
腐食防食と疲労		3・4後	2		○		1								
減災計画		3・4後	2		○			1							
環境衛生工学		3・4後	2		○									兼1	
火薬学		3・4前	2		○									兼1	
建築意匠		3・4前	2		○			1							
都市デザイン演習		3・4前	2			○			1						
耐震設計概論		3・4後	2		○				1						
都市および地方計画		3・4前又は後	2		○				1						
公共計画の技術と理論		3・4前又は後	2		○				1						
ネットワークセキュリティ		3・4後	2		○									兼1	
インターネットアーキテクチャ	3・4前	2		○				1							
知能ロボット	3・4後	2		○		1									
データマイニング	3・4後	2		○				1							
小計（19科目）	—	0	38	0	—		7	9	0				兼38		
合計（134科目）				73	181	0	—	5	5	3				兼38	

学位又は称号	学士（工学）	学位又は学科の分野	工学関係
修了要件及び履修方法		授業期間等	
1. 共通教育科目から30単位以上修得すること。		1 学年の学期区分	2学期
(1) 教養領域及び総合領域		1 学期の授業期間	15週
○教養領域の健康運動系科目から2単位以上		1 時限の授業時間	90分
○教養領域（人文系科目2単位上、社会系科目2単位以上、自然系科目）及び総合領域（総合科目、キャリア関係科目、琉大特色・地域創生科目）から2単位以上）合わせて14単位以上			
(2) 基幹領域			
○情報関係科目（「日本語表現法入門」含む。）2単位以上			
○外国語科目は「大学英语語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一外国語4単位以上。又は「大学英语語」を含む英語12単位以上			
2. 専門基礎教育の先修科目（「微分積分学ST I・II」「物理学I・II」「物理学実験」「化学I・II」「化学実験」）及び転換科目「化学入門I・II」を含む。）4単位以上修得すること。高等学校等で微分・積分、物理の教科を履修していない学生は、指導教員の認定により転換科目中の「微分積分学入門I・II」「物理学入門I・II」を履修し、それらの単位を先修科目中の「微分積分学ST I・II」「物理学I・II」に読み替えることができる。			
3. 専門教育科目から86単位以上修得すること。			
(必修) ○工学共通科目から21単位			
○コース専門科目から37.5単位			
(選択) ○工学共通科目及びコース専門科目から33.5単位以上			
○工学融合科目から4単位以上			
4. 共通教育科目・専門基礎教育科目及び専門教育科目で合計130単位以上修得すること。			

1. 共通教育科目から30単位以上修得すること。	1 学年の学期区分	2学期
	1 学期の授業期間	15週
	1 時限の授業時間	90分
(1) 教養領域及び総合領域		
○教養領域の健康運動系科目から2単位以上		

○教養領域（人文系科目2単位上、社会系科目2単位以上、自然系科目）及び総合領域（総合科目、キャリア関係科目、琉大特色・地域創生科目から2単位以上）合わせて14単位以上

(2) 基幹領域

○情報関係科目（「日本語表現法入門」含む。）2単位以上

○外国語科目は「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一外国語4単位以上。又は「大学英語」を含む英語12単位以上

2. 専門基礎教育の先修科目（「微分積分学S T I・II」「物理学I・II」「物理学実験」「化学実験」）及び転換科目「化学入門I・II」を含む。）14単位以上修得すること。高等学校等で微分・積分、物理の教科を履修していない学生は、指導教員の認定により転換科目中の「微分積分学入門I・II」「物理学入門I・II」を履修し、それらの単位を先修科目中の「微分積分学S T I・II」「物理学I・II」に読み替えることができる。

3. 専門教育科目から86単位以上修得すること。

(必修) ○工学共通科目から27単位

○コース専門科目から32単位

(選択) ○工学共通科目及びコース専門科目から23単位以上

○工学融合科目から4単位以上

4. 共通教育科目・専門基礎教育科目及び専門教育科目で合計130単位以上修得すること。

教育課程等の概要【基礎となる学部】																
(工学部 工学科 電気システム工学コース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	先修科目	微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1	
		微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅱ	1・2・3・4	2			○								兼1	
		物理学Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1	
		物理学実験	1・2・3・4	1			○								兼1	
		化学実験	1・2・3・4	1			○								兼1	
	小計(5科目)	—	—	8	0	0	—								兼5	
科目	転換	化学入門Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1	
		小計(1科目)	—	—	2	0	0	—							兼1	
専門教育科目	専工学共通科目	基礎数学Ⅰ	1前	1			○			2				2	兼2	
		基礎数学Ⅱ	1後		1		○			1	2			1	兼1	
		工業数学Ⅰ	1前	2			○			4	1			1		
		工業数学Ⅱ	1後	2			○			3	2			1		
		工業数学Ⅲ	2前	2			○			3	2			1		
		工業数学Ⅳ	2後	2			○				1				兼1	
		確率及び統計	1・2後		2		○			2	1				兼1	
		キャリアデザイン入門	1前	1			○			7	1			1		
		工学基礎演習	1前	2				○		12	15			11	兼1	
		キャリアデザイン	3前又は後	2			○			5	6			1		
		技術者の倫理	3後	2			○			10	1					
		エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○		16	23			11		
		プログラミングⅠ	1・2後	2			○				4				兼1	
		プログラミングⅡ	2・3前		2		○				3					
		技術英語Ⅰ	3前		2		○			1						
		技術英語Ⅱ	3後		2		○			1						
		技術英語Ⅲ	4前		2		○								兼1	
		知的財産権	3・4前又は後		2		○									兼1
		品質管理	3・4後		2		○			1						兼1
		経営工学概論	3・4後		2		○									兼1
		Frontiers of Engineering	3・4後		2		○			4	3			1		
		産業社会学原論Ⅰ	3・4前又は後		2		○			1						兼1
		産業社会学原論Ⅱ	3・4前又は後		2		○									兼1
		地域課題解決実践演習	3・4前		2			○		2	1					
		地域創生論	3前		2		○			2	1					
		国際協力論	3後		2		○			2						
		インターンシップⅠ	2・3・4		1				○	3	3			4		
		インターンシップⅡ	2・3・4		1				○	3	3			4		
		インターンシップⅢ	2・3・4		2				○	3	3			4		
		国際インターンシップⅠ	3・4		1				○	2	2					
		国際インターンシップⅡ	3・4		2				○	2	2					
		工学概論	1後		2			○		9	4					
職業指導(工業)	4前		2			○								兼1		
教職総合演習(情報)	4前		2				○	1						兼1		
工業科教育法A	3後		2			○								兼1		
工業科教育法B	4前		2			○								兼1		
情報科教育法A	3後		2			○		1								
情報科教育法B	4前		2			○		1								
セミナーⅠ	3・4前		1				○	22	23			14				
セミナーⅡ	3・4後		1				○	22	23			14				
卒業研究Ⅰ	4前		3				○	29	29			18				

		卒業研究Ⅱ	4後	3			○		29	29		18		
		卒業設計又は卒業研究Ⅰ	4前		3		○		3	5		2		
		卒業設計又は卒業研究Ⅱ	4後		3		○		3	5		2		
		小計(44科目)	—	28	56	0	—		32	34		20	兼14	
専 門 教 育 科 目	電 気 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス 専 門 科 目	エンジニアリングデザイン基礎	1後	1			○			2				
		ベクトル解析	1後	2			○		1					
		電磁気学Ⅰ	1後	2			○			1				
		電磁気学Ⅱ	2前	2			○			1				
		電磁気学Ⅲ	2前	2			○			1				
		電磁気学Ⅳ	2後	2			○		1					
		回路理論Ⅰ	1後	2			○		1					
		回路理論Ⅱ	2前	2			○			1				
		回路理論Ⅲ	2後	2			○			1				
		回路理論Ⅳ	2後	2			○			1				
		電気電子計測工学Ⅰ	2前	2			○		1					
		電気電子計測工学Ⅱ	2後		2		○		1					
		電子回路基礎	2後	2			○				2			
		電気電子基礎実験	2後	2				○					3	
		電気電子応用実験	3前	2				○					3	
		電力工学実験	4前		2			○					1	
		電子情報通信実験	4前		2			○					2	
		電気機器Ⅰ	3前		2			○		1				
		電気機器Ⅱ	3後		2			○		1				
		パワーエレクトロニクス	3後		2			○		1				
		電力工学Ⅰ	3前		2			○						兼1
		電力工学Ⅱ	3後		2			○						兼1
		電力工学Ⅲ	3後		2			○		1				
		電気電子材料	3前		2			○			1			
		電力系統工学	4前		2			○			1			
		電気機器設計製図	4後		2			○		1				
		電気法規及び施設管理	4前		1			○		1				
		メカトロニクス	4前		2			○		1				
		制御工学	3前		2			○			1			
		システム工学	3前		2			○			1			
		デジタル制御	3後		2			○			1			
		デジタル信号およびフィルタ	4前		2			○			1			
		情報数学	3前		2			○		1				
		パルス・デジタル回路	3前		2			○			1			
		数値解析	3後		2			○			1			
		生体計測工学	4前		2			○		1				
		組込み設計	4前		2			○		1				
		電気システム工学特別講義Ⅰ	3・4前又は後		2			○						兼1
		電気システム工学特別講義Ⅱ	3・4前又は後		2			○						兼1
		電気システム工学特別講義Ⅲ	3・4前又は後		2			○						兼1
		電気システム工学特別講義Ⅳ	3・4前又は後		2			○						兼1
		電気システム工学特別講義Ⅴ	3・4前又は後		2			○						兼1
		電気システム工学特別講義Ⅵ	3・4前又は後		2			○						兼1
		小計(43)	—	27	57	0	—		4	4		2	兼8	
専 門	工 学 融 合 科 目 ( 導 入	材料生産工学概論	3・4前又は後		2		○			2				
		熱流体工学概論	3・4前又は後		2		○		2	2				
		エネルギー変換工学基礎	3・4前又は後		2		○			1				
		環境工学概論	3・4前又は後		2		○		1					
		基礎流体力学	3・4後		2		○		1					
		橋設計論	3・4前		2		○		1					
		島嶼環境計画論	3・4前		2		○		1					
		道路交通計画	3・4前		2		○			1				
		海底資源工学	3・4後		2		○			1				
		地震工学	3・4後		2		○		1					



教	門	都市地域計画	3・4後	2		○		1						
		居住建築概論	3・4前又は後	2		○		3	3					
育	科	コンピュータサイエンス基礎	3・4前又は後	2		○		1						
		情報システム開発演習	3・4前又は後	2			○		1					
科	目	小計 (14)	—	0	28	0	—	12	11	0			0	
		機器構造学	3・4前	2		○		1						
目	選	重合材料学	3・4前又は後	2		○		1						
		流体機械学	3・4前	2		○			1					
目	目	エネルギー移動工学	3・4前又は後	2		○			1					
		腐食防食工学	3・4前	2		○		1						
目	目	熱機関工学	3・4前	2		○		1						
		プロジェクトマネジメント	3・4後	2		○		1						
目	目	維持管理工学	3・4後	2		○		1						
		腐食防食と疲労	3・4後	2		○		1		1				
目	目	減災計画	3・4後	2		○			1					
		環境衛生工学	3・4後	2		○							兼1	
目	目	火薬学	3・4前	2		○							兼1	
		建築意匠	3・4前	2		○			1					
目	目	都市デザイン演習	3・4前	2			○		1					
		耐震設計概論	3・4後	2		○			1					
目	目	都市および地方計画	3・4前又は後	2		○			1					
		公共計画の技術と理論	3・4前又は後	2		○			1					
目	目	ネットワークセキュリティ	3・4後	2		○							兼1	
		インターネットアーキテクチャ	3・4前	2		○			1					
目	目	知能ロボット	3・4後	2		○		1						
		データマイニング	3・4後	2		○			1					
目	目	小計 (21科目)	—	0	42	0	—	8	10	0	1	0	兼3	
		合計 (128科目)		65	183	0		4	4		2		兼31	
学位又は称号		学士 (工学)		学位又は学科の分野				工学関係						
修了要件及び履修方法							授業期間等							
1. 共通教育科目から30単位以上修得すること。 (1) 教養領域及び総合領域 ○教養領域の健康運動系科目から2単位以上 ○教養領域 (人文系科目2単位上、社会系科目2単位以上、自然系科目) 及び総合領域 (総合科目、キャリア関係科目、琉大特色・地域創生科目から2単位以上) 合わせて14単位以上 (2) 基幹領域 ○情報関係科目 (「日本語表現法入門」含む。) 2単位以上 ○外国語科目は「大学英语」を含む英語8単位以上及び英語以外の一外国語4単位以上。又は「大学英语」を含む英語12単位以上 2. 専門基礎教育の先修科目 (「微分積分学STI・II」「物理学I・II」「物理学実験」「化学実験」) 及び転換科目「化学入門I」を含む。) 10単位以上修得すること。 3. 専門教育科目から90単位以上修得すること。 (必修) ○工学共通科目から28単位 ○コース専門科目から27単位 (選択必修) ○「電力工学実験」又は「電子情報通信実験」から2単位 (選択) ○工学共通科目及びコース専門科目から29単位以上 ○工学融合科目から4単位以上 4. 共通教育科目・専門基礎教育科目及び専門教育科目で合計130単位以上修得すること。							1学年の学期区分		2学期					
							1学期の授業期間		15週					
							1時限の授業時間		90分					

教育課程等の概要【基礎となる学部】															
(工学部 工学科 電子情報通信コース)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	微分積分学ST(スタンダードコース)I	1・2・3・4	2			○									兼1
	微分積分学ST(スタンダードコース)II	1・2・3・4	2			○									兼1
	物理学I	1・2・3・4	2			○									兼1
	物理学実験	1・2・3・4	1			○									兼1
	化学実験	1・2・3・4	1			○									兼1
	小計(5科目)	—	8	0	0	—									兼5
転換科目	化学入門I	1・2・3・4	2	2		○									兼1
	小計(1科目)	—	2	2	0	—									兼1
専門科目	基礎数学I	1前	1			○			2				2		兼2
	基礎数学II	1後		1		○			1	2			1		兼1
	工業数学I	1前	2			○			4	1			1		
	工業数学II	1後	2			○			3	2			1		
	工業数学III	2前	2			○			3	2			1		
	工業数学IV	2後	2			○				1					兼1
	確率及び統計	1・2後		2		○			2	1					兼1
	キャリアデザイン入門	1前	1			○			7	1			1		
	工学基礎演習	1前	2				○		12	15			11		兼1
	キャリアデザイン	3前又は後	2			○			5	6			1		
	技術者の倫理	3後	2			○			10	1					
	エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○		16	23			11		
	プログラミングI	1・2後	2			○				4					兼1
	プログラミングII	2・3前		2		○				3					
	技術英語I	3前		2		○			1						
	技術英語II	3後		2		○			1						
	技術英語III	4前		2		○									兼1
	知的財産権	3・4前又は後		2		○									兼1
	品質管理	3・4後		2		○			1						
	経営工学概論	3・4後		2		○									兼1
	Frontiers of Engineering	3・4後		2		○			4	3			1		
	産業社会学原論I	3・4前又は後		2		○			1						
	産業社会学原論II	3・4前又は後		2		○									兼1
	地域課題解決実践演習	3・4前		2			○		2	1					
	地域創生論	3前		2		○			2	1					
	国際協力論	3後		2		○			2						
	インターンシップI	2・3・4		1					○	3	3			4	
	インターンシップII	2・3・4		1					○	3	3			4	
	インターンシップIII	2・3・4		2					○	3	3			4	
	国際インターンシップI	3・4		1					○	2	2				
国際インターンシップII	3・4		2					○	2	2					
工学概論	1後		2			○			9	4					
職業指導(工業)	4前		2			○								兼1	
教職総合演習(情報)	4前		2				○		1						
工業科教育法A	3後		2			○								兼1	
工業科教育法B	4前		2			○								兼1	
情報科教育法A	3後		2			○			1						
情報科教育法B	4前		2			○			1						
セミナーI	3・4前		1					○	22	23			14		
セミナーII	3・4後		1					○	22	23			14		
卒業研究I	4前		3					○	29	29			18		

		卒業研究Ⅱ	4後	3			○		29	29	18		
		卒業設計又は卒業研究Ⅰ	4前	3			○		3	5	2		
		卒業設計又は卒業研究Ⅱ	4後	3			○		3	5	2		
		小計(44科目)	—	28	56	0	—		32	34	20	兼14	
専 門 教 育 科 目	専 電 子 情 報 通 信 コ ー ス 専 門 科 目	エンジニアリングデザイン基礎	1後	1			○			2			
		ベクトル解析	1後	2			○		1				
		電磁気学Ⅰ	1後	2			○			1			
		電磁気学Ⅱ	2前	2			○			1			
		電磁気学Ⅲ	2前	2			○			1			
		電磁気学Ⅳ	2後	2			○		1				
		回路理論Ⅰ	1後	2			○		1				
		回路理論Ⅱ	2前	2			○			1			
		回路理論Ⅲ	2後	2			○			1			
		回路理論Ⅳ	2後	2			○			1			
		電気電子計測工学Ⅰ	2前	2			○		1				
		電気電子計測工学Ⅱ	2後	2			○		1				
		電子回路基礎	2後	2			○			2			
		電気電子基礎実験	2後	2				○				3	
		電気電子応用実験	3前	2				○				3	
		電子情報通信実験	4前	2				○				2	
		電力工学実験	4前	2			○					1	
		パルス・デジタル回路	3前	2			○			1			
		電子回路応用	3後	2			○			1			
		電子デバイス工学	3前	2			○		1				
		集積デバイス工学	3後	2			○		1				
		電子物性工学Ⅰ	3前	2			○		1				
		電子物性工学Ⅱ	3後	2			○		1				
		量子力学Ⅰ	3前	2			○		1				
		量子力学Ⅱ	3後	2			○			1			
		情報数学	3前	2			○		1				
		電子計算機Ⅰ	3前	2			○		1				
		電子計算機Ⅱ	3後	2			○		1				
		通信工学Ⅰ	3前	2			○		1				
		通信工学Ⅱ	3後	2			○			1			
		電磁波工学	3後	2			○			1			
		電子デバイス材料工学	3後	2			○			1			
		電気機器Ⅰ	3前	2			○		1				
		電気通信関係法規	3・4前又は後	2			○						兼1
		パワーエレクトロニクス	3後	2			○		1				
		電気電子材料	3前	2			○			1			
		制御工学	3前	2			○			1			
		デジタル制御	3後	2			○			1			
		デジタル信号およびフィルタ	4前	2			○			1			
		情報と符号の理論	4前	2			○		1				
		数値解析	3後	2			○			1			
		生体計測工学	4前	2			○		1				
		組込み設計	4前	2			○		1				
		電子情報通信特別講義Ⅰ	3・4前又は後	2			○						兼1
		電子情報通信特別講義Ⅱ	3・4前又は後	2			○						兼1
		電子情報通信特別講義Ⅲ	3・4前又は後	2			○						兼1
		電子情報通信特別講義Ⅳ	3・4前又は後	2			○						兼1
		電子情報通信特別講義Ⅴ	3・4前又は後	2			○						兼1
		電子情報通信特別講義Ⅵ	3・4前又は後	2			○						兼1
小計(49科目)	—	27	70	0	—		4	5	4		兼7		
専 門 融 合	工 学	材料生産工学概論	3・4前又は後	2			○		2				
		熱流体工学概論	3・4前又は後	2			○		2	2			
		エネルギー変換工学基礎	3・4前又は後	2			○			1			
		環境工学概論	3・4前又は後	2			○		1				

門 教 育 科 目	目 目 選 択 目	基礎流体力学	3・4後	2	○	1								
		橋設計論	3・4前	2	○	1								
		島嶼環境計画論	3・4前	2	○	1								
		道路交通計画	3・4前	2	○		1							
		海底資源工学	3・4後	2	○		1							
		地震工学	3・4後	2	○		1							
		都市地域計画	3・4後	2	○		1							
		居住建築概論	3・4前又は後	2	○		3	3						
		コンピュータサイエンス基礎	3・4前又は後	2	○		1							
		情報システム開発演習	3・4前又は後	2		○		1						
		小計 (14)	—	0	28	0	—	12	11	0				0
		機器構造学	3・4前	2	○		1							
		亜熱帯材料学	3・4前又は後	2	○		1							
		流体機械学	3・4前	2	○			1						
エネルギー移動工学	3・4前又は後	2	○			1								
腐食防食工学	3・4前	2	○		1									
熱機関工学	3・4前	2	○		1					1				
プロジェクトマネジメント	3・4後	2	○		1									
維持管理工学	3・4後	2	○		1									
腐食防食と疲労	3・4後	2	○		1									
減災計画	3・4後	2	○			1								
環境衛生工学	3・4後	2	○									兼1		
火薬学	3・4前	2	○									兼1		
建築意匠	3・4前	2	○			1								
都市デザイン演習	3・4前	2		○		1								
耐震設計概論	3・4後	2	○			1								
都市および地方計画	3・4前又は後	2	○			1								
公共計画の技術と理論	3・4前又は後	2	○			1								
ネットワークセキュリティ	3・4後	2	○									兼1		
インターネットアーキテクチャ	3・4前	2	○			1								
知能ロボット	3・4後	2	○		1									
データマイニング	3・4後	2	○			1								
小計 (21科目)	—	0	42	0	—	8	10	0	1	0		兼3		
合計 (134科目)				65	198	0		4	5		4		兼30	
学位又は称号		学士 (工学)		学位又は学科の分野				工学関係						
修了要件及び履修方法							授業期間等							
1. 共通教育科目から30単位以上修得すること。 (1) 教養領域及び総合領域 ○教養領域の健康運動系科目から2単位以上 ○教養領域 (人文系科目2単位上、社会系科目2単位以上、自然系科目) 及び総合領域 (総合科目、キャリア関係科目、琉大特色・地域創生科目から2単位以上) 合わせて14単位以上 (2) 基幹領域 ○情報関係科目 (「日本語表現法入門」含む。) 2単位以上 ○外国語科目は「大学英语」を含む英語8単位以上及び英語以外の一外国語4単位以上。又は「大学英语」を含む英語12単位以上 2. 専門基礎教育の先修科目 (「微積分学ST I・II」「物理学I・II」「物理学実験」「化学実験」) 及び転換科目「化学入門I」を含む。) 10単位以上修得すること。 3. 専門教育科目から90単位以上修得すること。 (必修) ○工学共通科目から28単位 ○コース専門科目から27単位 (選択必修) ○「電力工学実験」又は「電子情報通信実験」から2単位 (選択) ○工学共通科目及びコース専門科目から29単位以上 ○工学融合科目から4単位以上 4. 共通教育科目・専門基礎教育科目及び専門教育科目で合計130単位以上修得すること。							1学年の学期区分		2学期					
							1学期の授業期間		15週					
							1時限の授業時間		90分					

教育課程等の概要【基礎となる学部】																
(工学部 工学科 社会基盤デザインコース)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	先修科目	微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1	
		微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅱ	1・2・3・4	2			○								兼1	
		物理学Ⅰ	1・2・3・4	2			○								兼1	
		物理学Ⅱ	1・2・3・4	2			○								兼1	
		物理学実験	1・2・3・4	1			○								兼1	
		化学Ⅰ	1・2・3・4	2											兼1	
		化学Ⅱ	1・2・3・4	2											兼1	
		化学実験	1・2・3・4	1			○								兼1	
	小計(8科目)	—	—	14	0	0	—								兼8	
	転換科目	化学入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○								兼1	
化学入門Ⅱ		1・2・3・4		2										兼1		
小計(2科目)	—	—	0	4	0	—								兼2		
専門教育科目	工学	基礎数学Ⅰ	1前		1		○				2			2	兼2	
		基礎数学Ⅱ	1後		1		○				1	2		1	兼1	
		工業数学Ⅰ	1前	2			○				4	1		1		
		工業数学Ⅱ	1後	2			○				3	2		1		
		工業数学Ⅲ	2前	2			○				3	2		1		
		工業数学Ⅳ	2後		2		○					1			兼1	
		確率及び統計	1・2後		2		○				2	1			兼1	
		キャリアデザイン入門	1前	1			○				7	1		1		
		工学基礎演習	1前	2					○		12	15		11		兼1
		キャリアデザイン	3前又は後	2			○				5	6		1		
		技術者の倫理	3後	2			○				10	1				
		エンジニアリングデザイン演習	3後	2					○		16	23		11		
		プログラミングⅠ	1・2後		2		○					4			兼1	
		プログラミングⅡ	2・3前		2		○					3				
		技術英語Ⅰ	3前		2		○				1					
	技術英語Ⅱ	3後		2		○				1						
	技術英語Ⅲ	4前		2		○								兼1		
	知的財産権	3・4前又は後		2		○								兼1		
	品質管理	3・4後		2		○				1						
	経営工学概論	3・4後		2		○								兼1		
	Frontiers of Engineering	3・4後		2		○				4	3		1			
	産業社会学原論Ⅰ	3・4前又は後		2		○				1						
	産業社会学原論Ⅱ	3・4前又は後		2		○								兼1		
	地域課題解決実践演習	3・4前		2				○		2	1					
	地域創生論	3前		2		○				2	1					
	国際協力論	3後		2		○				2						
	インターンシップⅠ	2・3・4		1				○		3	3		4			
	インターンシップⅡ	2・3・4		1				○		3	3		4			
	インターンシップⅢ	2・3・4		2				○		3	3		4			
	国際インターンシップⅠ	3・4		1				○		2	2					
国際インターンシップⅡ	3・4		2				○		2	2						
工学概論	1後		2			○			9	4						
職業指導(工業)	4前		2			○							兼1			
教職総合演習(情報)	4前		2				○		1							
工業科教育法A	3後		2			○							兼1			
工業科教育法B	4前		2			○							兼1			
情報科教育法A	3後		2			○			1							

		情報科教育法B	4前	2		○		1							
		セミナーⅠ	3・4前	1			○	22	23		14				
		セミナーⅡ	3・4後	1			○	22	23		14				
		卒業研究Ⅰ	4前	3			○	29	29		18				
		卒業研究Ⅱ	4後	3			○	29	29		18				
		卒業設計又は卒業研究Ⅰ	4前	3			○	3	5		2				
		卒業設計又は卒業研究Ⅱ	4後	3			○	3	5		2				
		小計(44科目)	—	21	63	0	—	32	34		20			兼14	
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目	社会システム計画学Ⅰ	1後	2			○								
		社会システム計画学Ⅱ	2前	2			○								
		デザイン基礎	1後	1			○								
		構造力学Ⅰ及び演習	1後	3				○	1						
		構造力学Ⅱ	2前	2				○	1						
		構造力学Ⅲ	2後	2				○	1						
		情報処理解析法	1後	2				○							
		基礎流体力学	1後	2				○							
		水理学Ⅰ及び演習	2前	3					○	1					
		水理学Ⅱ	2後	2					○	1					
		土質力学Ⅰ及び演習	2前	3						○					
		土質力学Ⅱ	2後	2					○						
		測量学Ⅰ	2前	2					○	1					
		測量学Ⅱ	2後	2					○			1			
		測量学実習Ⅰ	2前	1.5						○		1			兼1
		測量学実習Ⅱ	2後	1.5						○		1			兼1
		建設材料学	2後	2					○	1					
		海岸工学	3前	2					○						
		鋼構造工学	3前	2					○						
		コンクリート構造工学	3前	2					○						
		地盤工学	3前	2					○						
		橋設計論	3前	2					○						
		材料工学	3前	2					○	1					
		島嶼環境計画論	3前	2					○						
		コンクリート工学実験	3前	1.5						○	1				
		地盤工学実験	3前	1.5						○	1				
		水工学実験	3前	1.5						○	1				
		道路交通計画	3前	2					○						
		プロジェクトマネジメント	3後	2					○			1			兼1
		腐食防食と疲労	3後	2					○	1					
		維持管理工学	3後	2					○						
		河川工学	3後	2					○						
		環境衛生工学	3後	2					○			1			兼1
		減災計画	3後	2					○						
		海底資源工学	3後	2					○						
地震工学	3後	2					○								
都市地域計画	3後	2					○								
港湾工学	3後	2					○	1		1			兼1		
計算力学	3後	2					○								
岩盤力学	3後	2					○								
デザイン演習A	3後	1.5							○	1					
デザイン演習B	3後	1.5							○	1					
火薬学	4前	2					○						兼1		
社会基盤デザイン特別講義Ⅰ	2・3・4	2					○						兼1		
社会基盤デザイン特別講義Ⅱ	2・3・4	2					○						兼1		
社会基盤デザイン特別講義Ⅲ	2・3・4	2					○						兼1		
社会基盤デザイン特別講義Ⅳ	2・3・4	2					○						兼1		
社会基盤デザイン特別講義Ⅴ	2・3・4	2					○						兼1		
社会基盤デザイン特別講義Ⅵ	2・3・4	2					○						兼1		
社会基盤デザイン特別講義Ⅶ	2・3・4	1					○						兼1		

専 門 教 育 科 目	社会基盤デザイン特別講義Ⅷ 社会基盤デザイン特別講義Ⅸ 社会基盤デザイン特別講義Ⅹ 社会基盤デザイン特別講義Ⅺ 社会基盤デザイン特別講義Ⅻ	2・3・4	1	○								兼1	
		2・3・4	1	○								兼1	
		2・3・4	1	○									兼1
		2・3・4	1	○									兼1
		2・3・4	1	○									兼1
		—	37.5	65	0	—		5	3		3		兼19
	工学融合科目 (導入科目)	材料生産工学概論	3・4前又は後	2	○								
		熱流体工学概論	3・4前又は後	2	○			2	2				
		エネルギー変換工学基礎	3・4前又は後	2	○				1				
		環境工学概論	3・4前又は後	2	○			1					
		電気電子工学基礎	3・4前又は後	2	○			1					
		メカトロニクス	3・4前又は後	2	○			1					
		通信工学概論	3・4前又は後	2	○			1					
		居住建築概論	3・4前又は後	2	○			3	3				
		コンピュータサイエンス基礎	3・4前	2	○			1					
		情報システム開発演習	3・4前又は後	2		○					1		
	—	0	20	0	—		10	9	0			0	
	融合科目 (選択科目)	機器構造学	3・4前	2	○			1					
		亜熱帯材料科学	3・4前又は後	2	○			1					
		流体機械学	3・4前	2	○				1				
エネルギー移動工学		3・4前又は後	2	○				1					
腐食防食工学		3・4前	2	○			1						
熱機関工学		3・4前	2	○			1						
パワーエレクトロニクス		3・4後	2	○			1						
制御工学		3・4前	2	○					1				
電気電子計測工学Ⅰ		3・4前	2	○			1						
電子デバイス工学		3・4前	2	○			1						
建築意匠		3・4前	2	○						1			
都市デザイン演習		3・4前	2		○					1			
耐震設計概論		3・4後	2	○						1			
都市および地方計画		3・4前又は後	2	○						1			
公共計画の技術と理論	3・4前又は後	2	○						1				
ネットワークセキュリティ	3・4後	2	○								1		
インターネットアーキテクチャ	3・4前	2	○						1				
知能ロボット	3・4後	2	○			1							
データマイニング	3・4後	2	○						1				
—	0	38	0	—		8	10	0	0	0	兼1		
合計 (138科目)			72.5	190	0	—	5	3		3		兼44	
学位又は称号		学士 (工学)	学位又は学科の分野				工学関係						
修了要件及び履修方法							授業期間等						
1. 共通教育科目から30単位以上修得すること。							1 学年の学期区分		2学期				
(1) 教養領域及び総合領域							1 学期の授業期間		15週				
○教養領域の健康運動系科目から2単位以上							1 時限の授業時間		90分				
○教養領域 (人文系科目2単位上、社会系科目2単位以上、自然系科目) 及び総合領域 (総合科目、キャリア関係科目、琉大特色・地域創生科目) から2単位以上 合わせて14単位以上													
(2) 基幹領域													
○情報関係科目 (「日本語表現法入門」含む。) 2単位以上													
○外国語科目は「大学英语」を含む英語8単位以上及び英語以外の一外国語4単位以上。又は「大学英语」を含む英語12単位以上													
2. 専門基礎教育の先修科目 (「微分積分学STI・II」「物理学I・II」「物理学実験」「化学I・II」「化学実験」) 及び転換科目「化学入門I・II」を含む。) 4単位以上修得すること。高等学校等で化学の教科を履修していない学生は、指導教員の認定により転換科目中の「化学入門I・II」を履修し、それらの単位を先修科目中の「化学I・II」に読み替えることができる。													
3. 専門教育科目から86単位以上修得すること。													
(必修) ○工学共通科目から21単位													
○コース専門科目から37.5単位													
(選択) ○工学共通科目及びコース専門科目から33.5単位以上													
○工学融合科目から4単位以上													
4. 共通教育科目・専門基礎教育科目及び専門教育科目で合計130単位以上修得すること。													

### 教育課程等の概要【基礎となる学部】

(工学部 工学科 建築学コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ	1・2・3・4	2			○									兼1
	微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅱ	1・2・3・4	2			○									兼1
	物理学Ⅰ	1・2・3・4	2			○									兼1
	物理学実験	1・2・3・4	1			○									兼1
	化学実験	1・2・3・4	1			○									兼1
	小計(5科目)	—	—	8	0	0	—								
門 教 育 科 目	基礎数学Ⅰ	1前		1		○			2					2	兼2
	基礎数学Ⅱ	1後		1		○			1	2				1	兼1
	工業数学Ⅰ	1前	2			○			4	1				1	
	工業数学Ⅱ	1後	2			○			3	2				1	
	工業数学Ⅲ	2前		2		○			3	2				1	
	工業数学Ⅳ	2後		2		○				1					兼1
	確率及び統計	1・2後		2		○			2	1					兼1
	キャリアデザイン入門	1前	1			○			7	1			1		兼1
	工学基礎演習	1前		2			○		12	15			11		兼1
	キャリアデザイン	3前又は後		2		○			5	6			1		
	技術者の倫理	3後		2		○			10	1					
	エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○		16	23			11		
	プログラミングⅠ	1・2後		2		○				4					兼1
	プログラミングⅡ	2・3前		2		○				3					
	技術英語Ⅰ	3前		2		○			1						
	技術英語Ⅱ	3後		2		○			1						
	技術英語Ⅲ	4前		2		○									兼1
	知的財産権	3・4前又は後		2		○									兼1
	品質管理	3・4後		2		○			1						兼1
	経営工学概論	3・4後		2		○									兼1
	Frontiers of Engineering	3・4後		2		○			4	3			1		
	産業社会学原論Ⅰ	3・4前又は後		2		○			1						
	産業社会学原論Ⅱ	3・4前又は後		2		○									兼1
	地域課題解決実践演習	3・4前		2			○		2	1					
	地域創生論	3前		2		○			2	1					
	国際協力論	3後		2		○			2						
	インターンシップⅠ	2・3・4		1					○	3	3			4	
	インターンシップⅡ	2・3・4		1					○	3	3			4	
	インターンシップⅢ	2・3・4		2					○	3	3			4	
	国際インターンシップⅠ	3・4		1					○	2	2				
	国際インターンシップⅡ	3・4		2					○	2	2				
	工学概論	1後		2			○			9	4				
	職業指導(工業)	4前		2			○								兼1
	教職総合演習(情報)	4前		2				○		1					
	工業科教育法A	3後		2			○								兼1
	工業科教育法B	4前		2			○								兼1
	情報科教育法A	3後		2			○			1					
	情報科教育法B	4前		2			○			1					
	セミナーⅠ	3・4前		1				○		22	23			14	
	セミナーⅡ	3・4後		1				○		22	23			14	
	卒業研究Ⅰ	4前		3					○	29	29			18	
	卒業研究Ⅱ	4後		3					○	29	29			18	
	卒業設計又は卒業研究Ⅰ	4前			3			○		3	5			2	
	卒業設計又は卒業研究Ⅱ	4後			3			○		3	5			2	
小計(44科目)	—	—	7	71	6	—			32	34			20		兼14
	建築構造力学Ⅰ	1前	3			○			1	1					







### 教育課程等の概要【基礎となる学部】

(工学部 工学科 知能情報コース)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1
	微分積分学ST(スタンダードコース)Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1
	物理学Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1
	物理学Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	—									兼4
	微分積分学入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1
	微分積分学入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1
	物理学入門Ⅰ	1・2・3・4		2		○									兼1
	物理学入門Ⅱ	1・2・3・4		2		○									兼1
	小計(4科目)	—	0	8	0	—									兼4
専門教育科目	基礎数学Ⅰ	1前		1		○			2					2	兼2
	基礎数学Ⅱ	1後		1		○			1	2				1	兼1
	工業数学Ⅰ	1前	2			○			4	1				1	
	工業数学Ⅱ	1後	2			○			3	2				1	
	工業数学Ⅲ	2前		2		○			3	2				1	
	工業数学Ⅳ	2後		2		○				1					兼1
	確率及び統計	1・2後		2		○			2	1					兼1
	キャリアデザイン入門	1前	1			○			7	1			1		兼1
	工学基礎演習	1前	2				○		12	15			11		兼1
	キャリアデザイン	3前又は後	2			○			5	6			1		
	技術者の倫理	3後	2			○			10	1					
	エンジニアリングデザイン演習	3後	2				○		16	23			11		
	プログラミングⅠ	1・2後	2			○				4					兼1
	プログラミングⅡ	2・3前	2			○				3					
	技術英語Ⅰ	3前		2		○			1						
	技術英語Ⅱ	3後		2		○			1						
	技術英語Ⅲ	4前		2		○									兼1
	知的財産権	3・4前又は後	2			○									兼1
	品質管理	3・4後	2			○			1						
	経営工学概論	3・4後	2			○									兼1
	Frontiers of Engineering	3・4後	2			○			4	3			1		
	産業社会学原論Ⅰ	3・4前又は後	2			○			1						
	産業社会学原論Ⅱ	3・4前又は後	2			○									兼1
	地域課題解決実践演習	3・4前	2				○		2	1					
	地域創生論	3前	2			○			2	1					
国際協力論	3後	2			○			2							
インターンシップⅠ	2・3・4	1					○	3	3			4			
インターンシップⅡ	2・3・4	1					○	3	3			4			
インターンシップⅢ	2・3・4	2					○	3	3			4			
国際インターンシップⅠ	3・4	1					○	2	2						
国際インターンシップⅡ	3・4	2					○	2	2						
工学概論	1後	2			○			9	4						
職業指導(工業)	4前	2			○									兼1	
教職総合演習(情報)	4前	2				○		1							
工業科教育法A	3後	2			○									兼1	
工業科教育法B	4前	2			○									兼1	
情報科教育法A	3後	2			○			1							
情報科教育法B	4前	2			○			1							
セミナーⅠ	3・4前	1				○		22	23			14			

		セミナーⅡ	3・4後		1			○		22	23		14		
		卒業研究Ⅰ	4前	3				○		29	29		18		
		卒業研究Ⅱ	4後	3				○		29	29		18		
		卒業設計又は卒業研究Ⅰ	4前		3			○		3	5		2		
		卒業設計又は卒業研究Ⅱ	4後		3			○		3	5		2		
		小計(44科目)	—	23	61	0		—		32	34		20	兼14	
専 門 教 育 科 目	専 知 能 情 報 コ ー ス 専 門 科 目	プログラミング演習Ⅰ	1前	1				○			1				
		プログラミング演習Ⅱ	1後	1				○				1			
		離散数学	1後	2				○		1					
		アルゴリズムとデータ構造	2前	2				○		1					
		情報ネットワークⅠ	2前	2				○							兼1
		情報ネットワークⅡ	2後		2			○				1			
		コンピュータシステム	2前	2				○				1			
		データサイエンス基礎	2前	4				○		1					
		プロジェクトデザイン	2前	2				○		1					
		デジタル回路	2前		2			○						1	
		情報処理技術概論	2前		2			○						1	
		オペレーティングシステム	2後	2				○				1			
		コンピュータアーキテクチャ	2後	2				○		1					
		VLSI設計	2後		2			○		1					
		言語理論とオートマトン	2後		2			○				1			
		データベースシステム	2後	2				○				1			
		人工知能	2後	2				○		1					
		デジタル信号処理	2後		2			○				1			
		ソフトウェア工学	3・4前		2			○				1			
		数理計画とアルゴリズム	3・4前		2			○				1			
		並列分散処理	3・4前		2			○			1				
		デジタルシステム設計	3・4前		2			○			1				
		インターネットアーキテクチャ	3・4前		2			○				1			
		機械学習	3・4前		2			○			1				
		ヒューマンコンピュータインタラクション	3・4前		2			○				1			
		情報理論	2後		2			○				1			
		計算機言語構成論	3・4後		2			○				1			
		デジタル制御論	3・4後		2			○						1	
		画像処理	3・4後		2			○				1			
		ネットワークセキュリティ	3・4後		2			○							兼1
		知能ロボット	3・4後		2			○			1				
		コレクティブインテリジェンス	3・4後		2			○						1	
		データマイニング	3・4後		2			○				1			
		知能情報実験Ⅰ	2前	1.5						○		1		3	兼1
		知能情報実験Ⅱ	2後	1.5						○		1		3	
		知能情報実験Ⅲ	3前	2						○	1	3		2	
		ソフトウェア開発演習Ⅰ	2後	2						○		1			兼1
		ソフトウェア開発演習Ⅱ	3前		2					○			1		
		ソフトウェア開発演習Ⅲ	3後		2					○			1		
		ICT実践英語Ⅰ	4前		2				○						兼1
		ICT実践英語Ⅱ	4後		2				○						兼1
		情報技術演習Ⅰ	3・4前後		2					○					兼1
		情報技術演習Ⅱ	3・4前後		2					○					兼1
		情報技術演習Ⅲ	3・4前後		1					○					兼1
		情報技術演習Ⅳ	3・4前後		1					○					兼1
		知能情報特別講義Ⅰ	3・4前後		2				○						兼1
		知能情報特別講義Ⅱ	3・4前後		2				○						兼1
		知能情報特別講義Ⅲ	3・4前後		1				○						兼1
		知能情報特別講義Ⅳ	3・4前後		1				○						兼1
小計(49科目)	—	31	62	0				—	6	6		2	兼14		
		材料生産工学概論	3・4前又は後		2			○			2				
		熱流体工学概論	3・4前又は後		2			○		2	2				

専	専	融	エネルギー変換工学基礎	3・4前又は後	2	○			1									
		合	環境工学概論	3・4前又は後	2	○		1										
門	教	目	科	電気電子工学基礎	3・4前又は後	2	○		1									
			目	メカトロニクス	3・4前又は後	2	○		1									
			目	電気電子工学基礎	3・4前又は後	2	○		1									
			目	通信工学概論	3・4前又は後	2	○		1									
			目	基礎流体力学	3・4後	2	○		1									
			目	橋設計論	3・4前	2	○		1									
			目	島嶼環境計画論	3・4前	2	○		1									
			目	道路交通計画	3・4前	2	○			1								
			目	海底資源工学	3・4後	2	○			1								
			目	地震工学	3・4後	2	○		1									
			目	都市地域計画	3・4後	2	○		1									
			目	居住建築概論	3・4前又は後	2	○		3	3								
			目	小計(16科目)	—	0	20	0	—	9	5	0			0			
			育	科	目	科	融	機器構造学	3・4前	2	○		1					
							合	亜熱帯材料学	3・4前又は後	2	○		1					
							目	流体機械学	3・4前	2	○			1				
目	エネルギー移動工学	3・4前又は後					2	○			1							
目	腐食防食工学	3・4前					2	○		1								
目	熱機関工学	3・4前					2	○		1								
目	パワーエレクトロニクス	3・4後					2	○		1								
目	制御工学	3・4前					2	○			1							
目	電気電子計測工学I	3・4前					2	○		1								
目	電子デバイス工学	3・4前					2	○		1								
目	プロジェクトマネジメント	3・4後					2	○		1								
目	維持管理工学	3・4後					2	○		1								
目	腐食防食と疲労	3・4後					2	○		1			1					
目	減災計画	3・4後					2	○			1							
目	環境衛生工学	3・4後					2	○							兼1			
目	火薬学	3・4前					2	○							兼1			
目	建築意匠	3・4前					2	○			1							
目	都市デザイン演習	3・4前					2	○			1							
目	耐震設計概論	3・4後					2	○			1							
目	都市および地方計画	3・4前又は後					2	○			1							
目	公共計画の技術と理論	3・4前又は後	2	○			1											
目	小計(21科目)	—	0	42	0	—	10	9	0	1	0	兼2						
合計(138科目)					54	201	0		6	6		2		兼38				
学位又は称号			学士(工学)			学位又は学科の分野			工学関係									
修了要件及び履修方法								授業期間等										
1. 共通教育科目から30単位以上修得すること。 (1) 教養領域及び総合領域 ○教養領域の健康運動系科目から2単位以上 ○教養領域(人文系科目2単位上、社会系科目2単位以上、自然系科目)及び総合領域(総合科目、キャリア関係科目、琉大特色・地域創生科目から2単位以上)合わせて14単位以上 (2) 基幹領域 ○情報関係科目(「日本語表現法入門」含む。)2単位以上 ○外国語科目は「大学英語」を含む英語8単位以上及び英語以外の一外国語4単位以上。又は「大学英語」を含む英語12単位以上 2. 専門基礎教育の先修科目(「微分積分学STI・II」「物理学I・II」を含む。)又は転換科目(「微分積分学入門I・II」「物理学入門I・II」)から8単位以上 3. 専門教育科目から92単位以上修得すること。 (必修)○工学共通科目から13単位 ○コース専門科目から49単位 (選択)○工学共通科目及びコース専門科目から24単位以上 ○工学融合科目から4単位以上 4. 共通教育科目・専門基礎教育科目及び専門教育科目で合計130単位以上修得すること。								1学年の学期区分		2学期								
								1学期の授業期間		15週								
								1時限の授業時間		90分								



授 業 科 目 の 概 要			
(理工学研究科 工学専攻 (博士前期課程))			
科目区分	授業科目の名称	講 義 等 の 内 容	備 考
共通領域科目	工学の倫理と社会実践	<p>工学における倫理感を向上と工学の社会実践のために必要な能力向上を目標とし、オムニバス形式でさまざまな側面から問題や課題に取り組み、グループディスカッションや発表を通して各学生の実践能力を高める。</p> <p>(オムニバス方式/15回)</p> <p>(10 柴田信一/4回)</p> <p>第1回 工学の倫理と社会実践ガイダンス、講義の狙い、進め方</p> <p>第4回 会社と社会</p> <p>第7回 ベンチャービジネス実践、ベンチャー企業研究</p> <p>第8回 科学者倫理、研究室での指導教員、研究室メンバーとの調和</p> <p>(13 千住智信/1回)</p> <p>第15回 社会における研究者の役割</p> <p>(20 仲座栄三/1回)</p> <p>第9回 実験データの取り扱い</p> <p>(25 清水 肇/1回)</p> <p>第14回 公的研究費の使用について</p> <p>(29 山田孝治/1回)</p> <p>第10回 情報倫理、情報の秘密保持、情報開示、コンプライアンス</p> <p>(31 和田知久/5回)</p> <p>第2回 知力・学力などをコントロールする力</p> <p>第3回 技術者・科学者として社会で活躍できる人間像</p> <p>第5回 世界と日本、グローバルに活躍する</p> <p>第6回 起業を考える、資金繰り、税務申告、取引先開拓、人材採用</p> <p>第13回 特許法における発明者、発明者の立場で留意すべき倫理</p> <p>(48 島袋勝彦/1回)</p> <p>第12回 科学者の発表倫理</p> <p>(63 當間愛晃/1回)</p> <p>第11回 科学研究における不正行為、論文ねつ造の問題等事例</p>	オムニバス方式

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究 I	<p>(概要)          所属するプログラムにおける工学分野に関して、指導教員の指導の下、選択した研究テーマについての調査・解析を行い、修士論文を完成させるための研究を遂行する。(工学特別研究では工学特別研究 I～IVを通して研究の進捗に合わせて順次実施する。)</p> <p>(1 真壁朝敏)          材料力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(2 宮崎達二郎)          材料力学、弾性力学、破壊力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(3 押川 渡)          腐食工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(4 野底武浩)          熱工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(5 瀬名波 出)          熱流体工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(6 屋我 実)          高速流体工学・熱移動工学・空気力学・衝撃波工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(7 金城 寛)          知能制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(8 倉田耕治)          知能工学、数理生物学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(9 斉藤正敏)          材料学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(10 柴田信一)          加工システム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(11 浦崎直光)          電気機器工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(12 比嘉広樹)          生体医工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(13 千住智信)          電力系統工学・エネルギー変換工学・パワーエレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(14 米須 章)          プラズマ工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(15 比嘉 晃)          電子物性工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(16 長田康敬)          計算知能工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(17 山里将朗)          電子材料工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(18 藤井智史)          信号処理応用分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(19 下里哲弘)          構造工学・橋梁工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(20 仲座栄三)          海岸工学・流体力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(21 安藤徹哉)          都市・地域計画及び土木計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(22 伊東 孝)          地盤工学・岩盤力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	



科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅰ	<p>(23 富山 潤) コンクリート工学・土木材料学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(24 カストロ ホワン ホセ) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(25 清水 肇) 都市計画・地域計画・生活空間計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(26 山田義智) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(27 岡崎威生) 数理統計学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(28 遠藤聡志) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(29 山田孝治) 知能ロボット工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(30 名嘉村盛和) 計算工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(31 和田知久) 無線通信・デジタルシステム分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(32 末吉敏恭) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(33 藤川正毅) 材料力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(34 神田康行) 材料加工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(35 近藤了嗣) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(36 天久和正) 流体工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(38 儀間 悟) 伝熱工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(39 松田昇一) 熱流体工学・溶接工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(40 上里英輔) 制御工学・ロボット工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(41 大城尚紀) 計測・知能工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(42 中園邦彦) 制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(43 山本健一) 磁気工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(44 原田繁実) 電力システム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(45 半場 滋) 制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(46 長堂 勤) 制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(47 金城光永) 量子計算機工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(49 齋藤将人) 無線通信工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究 I	<p>(50 野崎真也) 画像工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(51 景山 弘) 有機エレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(52 松原 仁) 地盤環境工学・地圏工学・計算科学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(53 神谷大介) 土木計画・環境計画・防災計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(54 福田朝生) 水理学・河川工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(55 入江 徹) 建築計画学・建築設計・建築理論分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(56 小野(宮道)尋子) 都市計画・都市計画理論・ランドスケープ分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(57 中田幸造) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(58 渡嘉敷 健) 建築環境工学・音響工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(59 崎原康平) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(61 姜 東植) 知的情報工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(62 長田智和) インターネットシステム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(63 當間愛晃) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(64 長山 格) 応用計算機工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(65 赤嶺有平) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅱ	<p>(概要) 工学特別研究Ⅰに引き続き、修士論文を完成させるための研究を遂行する。</p> <p>(1 真壁朝敏) 材料力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(2 宮崎達二郎) 材料力学、弾性力学、破壊力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(3 押川 渡) 腐食工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(4 野底武浩) 熱工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(5 瀬名波 出) 熱流体工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(6 屋我 実) 高速流体工学、熱移動工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(7 金城 寛) 知能制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(8 倉田耕治) 知能工学、数理生物学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(9 齊藤正敏) 材料学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(10 柴田信一) 加工システム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(11 浦崎直光) 電気機器工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(12 比嘉広樹) 生体医学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(13 千住智信) 電力系統工学・エネルギー変換工学・パワーエレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(14 米須 章) プラズマ工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(15 比嘉 晃) 電子物性工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(16 長田康敬) 計算知能工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(17 山里将朗) 電子材料工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(18 藤井智史) 信号処理応用分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(19 下里哲弘) 構造工学・橋梁工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(20 仲座栄三) 海岸工学・流体力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(21 安藤徹哉) 都市・地域計画及び土木計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(22 伊東 孝) 地盤工学・岩盤力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(23 富山 潤) コンクリート工学・土木材料学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅱ	<p>(24 カストロ ホワン ホセ) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(25 清水 肇) 都市計画・地域計画・生活空間計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(26 山田義智) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(27 岡崎威生) 数理統計学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(28 遠藤聡志) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(29 山田孝治) 知能ロボット工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(30 名嘉村盛和) 計算工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(31 和田知久) 無線通信・デジタルシステム分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(32 末吉敏彦) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(33 藤川正毅) 材料力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(34 神田康行) 材料加工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(35 近藤了嗣) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(36 天久和正) 流体工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(38 儀間 悟) 伝熱工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(39 松田昇一) 熱流体工学・溶接工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(40 上里英輔) 制御工学・ロボット工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(41 大城尚紀) 計測・知能工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(42 中園邦彦) 制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(43 山本健一) 磁気工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(44 原田繁実) 電力システム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(45 半場 滋) 制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(46 長堂 勤) 制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(47 金城光永) 量子計算機工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(49 齋藤将人) 無線通信工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(50 野崎真也) 画像工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅱ	<p>(51 景山 弘) 有機エレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(52 松原 仁) 地盤環境工学・地圏工学・計算科学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(53 神谷大介) 土木計画・環境計画・防災計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(54 福田朝生) 水理学・河川工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(55 入江 徹) 建築計画学・建築設計・建築理論分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(56 小野(宮道)尋子) 都市計画・都市計画理論・ランドスケープ分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(57 中田幸造) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(58 渡嘉敷 健) 建築環境工学・音響工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(59 崎原康平) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(61 姜 東植) 知的情報工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(62 長田智和) インターネットシステム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(63 當間愛見) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(64 長山 格) 応用計算機工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(65 赤嶺有平) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅲ	<p>(概要) 工学特別研究Ⅱに引き続き、修士論文を完成させるための研究を遂行する。</p> <p>(1 真壁朝敏) 材料力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(2 宮崎達二郎) 材料力学、弾性力学、破壊力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(3 押川 渡) 腐食工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(4 野底武浩) 熱工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(5 瀬名波 出) 熱流体工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(6 屋我 実) 高速流体工学、熱移動工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(7 金城 寛) 知能制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(8 倉田耕治) 知能工学、数理生物学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(9 齊藤正敏) 材料学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(10 柴田信一) 加工システム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(11 浦崎直光) 電気機器工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(12 比嘉広樹) 生体医学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(13 千住智信) 電力系統工学・エネルギー変換工学・パワーエレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(14 米須 章) プラズマ工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(15 比嘉 晃) 電子物性工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(16 長田康敬) 計算知能工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(17 山里将朗) 電子材料工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(18 藤井智史) 信号処理応用分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(19 下里哲弘) 構造工学・橋梁工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(20 仲座栄三) 海岸工学・流体力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(21 安藤徹哉) 都市・地域計画及び土木計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(22 伊東 孝) 地盤工学・岩盤力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(23 富山 潤) コンクリート工学・土木材料学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅲ	<p>(24 カストロ ホワン ホセ) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(25 清水 肇) 都市計画・地域計画・生活空間計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(26 山田義智) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(27 岡崎威生) 数理統計学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(28 遠藤聡志) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(29 山田孝治) 知能ロボット工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(30 名嘉村盛和) 計算工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(31 和田知久) 無線通信・デジタルシステム分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(32 末吉敏彦) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(33 藤川正毅) 材料力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(34 神田康行) 材料加工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(35 近藤了嗣) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(36 天久和正) 流体工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(38 儀間 悟) 伝熱工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(39 松田昇一) 熱流体工学・溶接工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(40 上里英輔) 制御工学・ロボット工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(41 大城尚紀) 計測・知能工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(42 中園邦彦) 制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(43 山本健一) 磁気工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(44 原田繁実) 電力システム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(45 半場 滋) 制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(46 長堂 勤) 制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(47 金城光永) 量子計算機工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(49 齋藤将人) 無線通信工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(50 野崎真也) 画像工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅲ	<p>(51 景山 弘) 有機エレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(52 松原 仁) 地盤環境工学・地圏工学・計算科学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(53 神谷大介) 土木計画・環境計画・防災計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(54 福田朝生) 水理学・河川工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(55 入江 徹) 建築計画学・建築設計・建築理論分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(56 小野(宮道) 尋子) 都市計画・都市計画理論・ランドスケープ分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(57 中田幸造) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(58 渡嘉敷 健) 建築環境工学・音響工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(59 崎原康平) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(61 姜 東植) 知的情報工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(62 長田智和) インターネットシステム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(63 當間愛見) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(64 長山 格) 応用計算機工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(65 赤嶺有平) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	



科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅳ	<p>(概要) 工学特別研究Ⅲに引き続き、修士論文を完成させるための研究を遂行する。</p> <p>(1 真壁朝敏) 材料力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(2 宮崎達二郎) 材料力学、弾性力学、破壊力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(3 押川 渡) 腐食工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(4 野底武浩) 熱工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(5 瀬名波 出) 熱流体工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(6 屋我 実) 高速流体工学、熱移動工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(7 金城 寛) 知能制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(8 倉田耕治) 知能工学、数理生物学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(9 斉藤正敏) 材料学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(10 柴田信一) 加工システム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(11 浦崎直光) 電気機器工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(12 比嘉広樹) 生体医工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(13 千住智信) 電力系統工学・エネルギー変換工学・パワーエレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(14 米須 章) プラズマ工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(15 比嘉 晃) 電子物性工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(16 長田康敬) 計算知能工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(17 山里将朗) 電子材料工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(18 藤井智史) 信号処理応用分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(19 下里哲弘) 構造工学・橋梁工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(20 仲座栄三) 海岸工学・流体力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(21 安藤徹哉) 都市・地域計画及び土木計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(22 伊東 孝) 地盤工学・岩盤力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(23 富山 潤) コンクリート工学・土木材料学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅳ	<p>(24 カストロ ホワン ホセ)  建築構造学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(25 清水 肇)  都市計画・地域計画・生活空間計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(26 山田義智)  建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(27 岡崎威生)  数理統計学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(28 遠藤聡志)  複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(29 山田孝治)  知能ロボット工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(30 名嘉村盛和)  計算工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(31 和田知久)  無線通信・デジタルシステム分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(32 末吉敏恭)  塑性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(33 藤川正毅)  材料力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(34 神田康行)  材料加工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(35 近藤了嗣)  塑性力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(36 天久和正)  流体工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(38 儀間 悟)  伝熱工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(39 松田昇一)  熱流体工学・溶接工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(40 上里英輔)  制御工学・ロボット工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(41 大城尚紀)  計測・知能工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(42 中園邦彦)  制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(43 山本健一)  磁気工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(44 原田繁実)  電力システム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(45 半場 滋)  制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(46 長堂 勤)  制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(47 金城光永)  量子計算機工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(49 齋藤将人)  無線通信工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別研究Ⅳ	<p>(50 野崎真也) 画像工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(51 景山 弘) 有機エレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(52 松原 仁) 地盤環境工学・地圏工学・計算科学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(53 神谷大介) 土木計画・環境計画・防災計画分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(54 福田朝生) 水理学・河川工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(55 入江 徹) 建築計画学・建築設計・建築理論分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(56 小野(宮道)尋子) 都市計画・都市計画理論・ランドスケープ分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(57 中田幸造) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(58 渡嘉敷 健) 建築環境工学・音響工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(59 崎原康平) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(61 姜 東植) 知的情報工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(62 長田智和) インターネットシステム工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(63 當間愛晃) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(64 長山 格) 応用計算機工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p> <p>(65 赤嶺有平) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、研究内容を系統的にまとめられるよう研究指導を行う。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習 I	<p>工学特別研究 I に連動し、研究するために必要な関連分野の論文等の文献を調査・探求するとともに、理論や方法の構築のための実践的な演習を行う。</p> <p>(1 真壁朝敏) 材料力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(2 宮崎達二郎) 材料力学、弾性力学、破壊力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(3 押川 渡) 腐食工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(4 野底武浩) 熱工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(5 瀬名波 出) 熱流体工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(6 屋我 実) 高速流体工学・熱移動工学・空気力学・衝撃波工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(7 金城 寛) 知能制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(8 倉田耕治) 知能工学、数理生物学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(9 齊藤正敏) 材料学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(10 柴田信一) 加工システム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(11 浦崎直光) 電気機器工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(12 比嘉広樹) 生体医学工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(13 千住智信) 電力系統工学・エネルギー変換工学・パワーエレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(14 米須 章) プラズマ工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(15 比嘉 晃) 電子物性工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(16 長田康敬) 計算知能工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習 I	<p>(17 山里将朗) 電子材料工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(18 藤井智史) 信号処理応用分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(19 下里哲弘) 構造工学・橋梁工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(20 仲座栄三) 海岸工学・流体力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(21 安藤徹哉) 都市・地域計画及び土木計画分野に関する研究テーマについて文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(22 伊東 孝) 地盤工学・岩盤力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(23 富山 潤) コンクリート工学・土木材料学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(24 カストロ ホワン ホセ) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(25 清水 肇) 都市計画・地域計画・生活空間計画分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(26 山田義智) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(27 岡崎威生) 数理統計学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(28 遠藤聡志) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(29 山田孝治) 知能ロボット工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(30 名嘉村盛和) 計算工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(31 和田知久) 無線通信・デジタルシステム分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習 I	<p>(32 末吉敏恭) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(33 藤川正毅) 材料力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(34 神田康行) 材料加工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(35 近藤了嗣) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(36 天久和正) 流体工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(38 儀間 悟) 伝熱工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(39 松田昇一) 熱流体工学・溶接工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(40 上里英輔) 制御工学・ロボット工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(41 大城尚紀) 計測・知能工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(42 中園邦彦) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(43 山本健一) 磁気工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(44 原田繁実) 電力システム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(45 半場 滋) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(46 長堂 勤) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(47 金城光永) 量子計算機工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(49 齋藤将人) 無線通信工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(50 野崎真也) 画像工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅰ	<p>(51 景山 弘) 有機エレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(52 松原 仁) 地盤環境工学・地圏工学・計算科学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(53 神谷大介) 土木計画・環境計画・防災計画分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(54 福田朝生) 水理学・河川工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(55 入江 徹) 建築計画学・建築設計・建築理論分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(56 小野(宮道) 尋子) 都市計画・都市計画理論・ランドスケープ分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(57 中田幸造) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(58 渡嘉敷 健) 建築環境工学・音響工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(59 崎原康平) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(61 姜 東植) 知的情報工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(62 長田智和) インターネットシステム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(63 當間愛晃) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(64 長山 格) 応用計算機工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(65 赤嶺有平) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅱ	<p>工学特別研究Ⅱに連動し、研究するために必要な関連分野の論文等の文献を調査・探求するとともに、理論や方法の構築のための実践的な演習を行う。</p> <p>(1 真壁朝敏) 材料力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(2 宮崎達二郎) 材料力学、弾性力学、破壊力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(3 押川 渡) 腐食工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(4 野底武浩) 熱工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(5 瀬名波 出) 熱流体工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(6 屋我 実) 高速流体工学・熱移動工学・空気力学・衝撃波工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(7 金城 寛) 知能制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(8 倉田耕治) 知能工学、数理生物学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(9 斉藤正敏) 材料学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(10 柴田信一) 加工システム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(11 浦崎直光) 電気機器工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(12 比嘉広樹) 生体医学工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(13 千住智信) 電力システム工学・エネルギー変換工学・パワーエレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(14 米須 章) プラズマ工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(15 比嘉 晃) 電子物性工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(16 長田康敬) 計算知能工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(17 山里将朗) 電子材料工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	



科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅱ	<p>(18 藤井智史) 信号処理応用分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(19 下里哲弘) 構造工学・橋梁工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(20 仲座栄三) 海岸工学・流体力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(21 安藤徹哉) 都市・地域計画及び土木計画分野に関する研究テーマについて文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(22 伊東 孝) 地盤工学・岩盤力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(23 富山 潤) コンクリート工学・土木材料学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(24 カストロ ホワシ ホセ) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(25 清水 肇) 都市計画・地域計画・生活空間計画分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(26 山田義智) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(27 岡崎成生) 数理統計学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(28 遠藤聡志) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(29 山田孝治) 知能ロボット工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(30 名嘉村盛和) 計算工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(31 和田知久) 無線通信・デジタルシステム分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(32 末吉敏恭) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(33 藤川正毅) 材料力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(34 神田康行) 材料加工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(35 近藤了嗣) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(36 天久和正) 流体工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅱ	<p>(38 儀間 悟) 伝熱工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(39 松田昇一) 熱流体工学・溶接工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(40 上里英輔) 制御工学・ロボット工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(41 大城尚紀) 計測・知能工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(42 中園邦彦) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(43 山本健一) 磁気工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(44 原田繁実) 電力システム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(45 半場 滋) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(46 長堂 勤) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(47 金城光永) 量子計算機工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(49 齋藤将人) 無線通信工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(50 野崎真也) 画像工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(51 景山 弘) 有機エレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(52 松原 仁) 地盤環境工学・地圏工学・計算科学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(53 神谷大介) 土木計画・環境計画・防災計画分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(54 福田朝生) 水理学・河川工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(55 入江 徹) 建築計画学・建築設計・建築理論分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(56 小野(宮道) 尋子) 都市計画・都市計画理論・ランドスケープ分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(57 中田幸造) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅱ	<p>(58 渡嘉敷 健) 建築環境工学・音響工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(59 崎原康平) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(61 姜 東植) 知的情報工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(62 長田智和) インターネットシステム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(63 當間愛晃) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(64 長山 格) 応用計算機工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(65 赤嶺有平) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅲ	<p>工学特別研究Ⅲに連動し、研究するために必要な関連分野の論文等の文献を調査・探求するとともに、理論や方法の構築のための実践的な演習を行う。</p> <p>(1 真壁朝敏) 材料力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(2 宮崎達二郎) 材料力学、弾性力学、破壊力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(3 押川 渡) 腐食工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(4 野底武浩) 熱工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(5 瀬名波 出) 熱流体工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(6 屋我 実) 高速流体工学・熱移動工学・空気力学・衝撃波工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(7 金城 寛) 知能制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(8 倉田耕治) 知能工学、数理生物学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(9 斉藤正敏) 材料学分野に分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(10 柴田信一) 加工システム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(11 浦崎直光) 電気機器工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(12 比嘉広樹) 生体医学工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(13 千住智信) 電力系統工学・エネルギー変換工学・パワーエレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(14 米須 章) プラズマ工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(15 比嘉 晃) 電子物性工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(16 長田康敬) 計算知能工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(17 山里将朗) 電子材料工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅲ	<p>(18 藤井智史) 信号処理応用分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(19 下里哲弘) 構造工学・橋梁工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(20 仲座栄三) 海岸工学・流体力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(21 安藤徹哉) 都市・地域計画及び土木計画分野に関する研究テーマについて文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(22 伊東 孝) 地盤工学・岩盤力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(23 富山 潤) コンクリート工学・土木材料学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(24 カストロ ホワン ホセ) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(25 清水 肇) 都市計画・地域計画・生活空間計画分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(26 山田義智) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(27 岡崎成生) 数理統計学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(28 遠藤聡志) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(29 山田孝治) 知能ロボット工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(30 名嘉村盛和) 計算工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(31 和田知久) 無線通信・デジタルシステム分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(32 末吉敏恭) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(33 藤川正毅) 材料力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(34 神田康行) 材料加工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(35 近藤了嗣) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(36 天久和正) 流体工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
		<p>(38 儀間 悟) 伝熱工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(39 松田昇一) 熱流体工学・溶接工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(40 上里英輔) 制御工学・ロボット工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(41 大城尚紀) 計測・知能工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(42 中園邦彦) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(43 山本健一) 磁気工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(44 原田繁実) 電力システム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(45 半場 滋) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(46 長堂 勤) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(47 金城光永) 量子計算機工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(49 齋藤将人) 無線通信工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(50 野崎真也) 画像工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(51 景山 弘) 有機エレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(52 松原 仁) 地盤環境工学・地圏工学・計算科学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(53 神谷大介) 土木計画・環境計画・防災計画分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(54 福田朝生) 水理学・河川工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(55 入江 徹) 建築計画学・建築設計・建築理論分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(56 小野(宮道) 尋子) 都市計画・都市計画理論・ランドスケープ分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅲ	<p>(57 中田幸造)            建築構造学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(58 渡嘉敷 健)            建築環境工学・音響工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(59 崎原康平)            建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(61 姜 東植)            知的情報工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(62 長田智和)            インターネットシステム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(63 當間愛晃)            複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(64 長山 格)            応用計算機工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(65 赤嶺有平)            複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅳ	<p>工学特別研究Ⅳに連動し、研究するために必要な関連分野の論文等の文献を調査・探求するとともに、理論や方法の構築のための実践的な演習を行う。</p> <p>(1 真壁朝敏) 材料力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(2 宮崎達二郎) 材料力学、弾性力学、破壊力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(3 押川 渡) 腐食工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(4 野底武浩) 熱工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(5 瀬名波 出) 熱流体工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(6 屋我 実) 高速流体工学・熱移動工学・空気力学・衝撃波工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(7 金城 寛) 知能制御工学分野に関する研究テーマについて、種々の調査・解析を展開し、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(8 倉田耕治) 知能工学、数理生物学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(9 斉藤正敏) 材料学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(10 柴田信一) 加工システム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(11 浦崎直光) 電気機器工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(12 比嘉広樹) 生体医学工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(13 千住智信) 電力系統工学・エネルギー変換工学・パワーエレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(14 米須 章) プラズマ工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(15 比嘉 晃) 電子物性工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(16 長田康敬) 計算知能工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(17 山里将朗) 電子材料工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	



科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅳ	<p>(18 藤井智史) 信号処理応用分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(19 下里哲弘) 構造工学・橋梁工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(20 仲座栄三) 海岸工学・流体力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(21 安藤徹哉) 都市・地域計画及び土木計画分野に関する研究テーマについて文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(22 伊東 孝) 地盤工学・岩盤力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(23 富山 潤) コンクリート工学・土木材料学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(24 カストロ ホワン ホセ) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(25 清水 肇) 都市計画・地域計画・生活空間計画分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(26 山田義智) 建築材料学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(27 岡崎成生) 数理統計学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(28 遠藤聡志) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(29 山田孝治) 知能ロボット工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(30 名嘉村盛和) 計算工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(31 和田知久) 無線通信・デジタルシステム分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(32 末吉敏恭) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(33 藤川正毅) 材料力学・弾性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(34 神田康行) 材料加工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(35 近藤了嗣) 塑性力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(36 天久和正) 流体工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅳ	<p>(38 儀間 悟) 伝熱工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(39 松田昇一) 熱流体工学・溶接工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(40 上里英輔) 制御工学・ロボット工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(41 大城尚紀) 計測・知能工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(42 中園邦彦) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(43 山本健一) 磁気工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(44 原田繁実) 電力システム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(45 半場 滋) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(46 長堂 勤) 制御工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(47 金城光永) 量子計算機工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(49 齋藤将人) 無線通信工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(50 野崎真也) 画像工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(51 景山 弘) 有機エレクトロニクス分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(52 松原 仁) 地盤環境工学・地圏工学・計算科学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(53 神谷大介) 土木計画・環境計画・防災計画分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(54 福田朝生) 水理学・河川工学・計算力学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(55 入江 徹) 建築計画学・建築設計・建築理論分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(56 小野(宮道) 尋子) 都市計画・都市計画理論・ランドスケープ分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(57 中田幸造) 建築構造学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	工学特別演習Ⅳ	<p>(58 渡嘉敷 健) 建築環境工学・音響工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(59 崎原康平) 建築材料工学・コンクリート工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(61 姜 東植) 知的情報工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(62 長田智和) インターネットシステム工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(63 當間愛晃) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(64 長山 格) 応用計算機工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p> <p>(65 赤嶺有平) 複雑系工学分野に関する研究テーマについて、文献・学術論文等を調査・講読し、ゼミ等において指導教員や他大学院生と討論する。その中から関連分野の理論の展開及び研究についての知識を修得する。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通領域科目	国際インターンシップⅠ	海外の企業、学校、行政機関、各種団体等や、国内でも英語を用いた同様の組織における調査・研究等の実務活動を通して、国内とは異なる環境での経験や、社会や技術に関わる諸問題の体験から、国際的な広い視野からさまざまな課題を理解する。	
	国際インターンシップⅡ	海外の企業、学校、行政機関、各種団体等や、国内でも英語を用いた同様の組織における調査・研究等の実務活動を通して、国内とは異なる環境での経験や、社会や技術に関わる諸問題の体験から、国際的な広い視野からさまざまな課題を理解する。(国際インターンシップⅠとは異なる派遣先での研修とする)	
	インターンシップⅠ	一般企業、行政機関、学校、各種団体等での現実の開発やプロジェクトへの参加を通して、社会人としての心構え、社会の仕組みや、仕事に対する取り組み方などの理解を深める。(およそ1週間程度)	
	インターンシップⅡ	一般企業、行政機関、学校、各種団体等での現実の開発やプロジェクトへの参加を通して、社会人としての心構え、社会の仕組みや、仕事に対する取り組み方などの理解を深める。(1週間程度、インターンシップⅠとは異なる派遣先での研修とする)	
	インターンシップⅢ	一般企業、行政機関、学校、各種団体等での現実の開発やプロジェクトへの参加を通して、社会人としての心構え、社会の仕組みや、仕事に対する取り組み方などの理解を深める。(2週間程度)	
	インターンシップⅣ	一般企業、行政機関、学校、各種団体等での現実の開発やプロジェクトへの参加を通して、社会人としての心構え、社会の仕組みや、仕事に対する取り組み方などの理解を深める。(2週間程度、インターンシップⅢとは異なる派遣先での研修とする)	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
プログラム専門領域科目 材料物質工学プログラム	材料力学特論	まず、材料力学の応用問題および材料の静的・動的負荷における強度評価に関して概説する。次に、機器で生じる疲労と破壊の問題を重視して授業を進める。後半では、最新の材料強度と破壊に関する研究論文内容の紹介によって、強度評価の重要性を説明する。	
	塑性力学特論	塑性加工の力学的・数学的基礎理論である塑性力学について、応力やひずみ、それらの関係、降伏条件等の数学的取扱について学びます。また、基礎的な塑性力学に関する問題を通じて、基礎理論に基づいた解析手法について学ぶ。 本科目を学び、目標を達成するためには、材料力学の基本的な問題を解くことができる能力を身につけている必要がある。 講義は、適宜配布する資料に基づいて行います。また受講生を1グループ2～3名程度に分け、塑性力学や塑性加工に関する話題をグループで調査・発表する。	
	固体力学特論	3次元大変形問題を対象とした連続体力学について授業する。特に、テンソルの演算（四則演算、不変量、固有値、微分計算など）について解説し、続けて大変形問題における応力・ひずみの記述を説明する。そして、構造解析における様々な材料構成則（弾性、塑性、粘弾性解析）の種類と概要について解説し、近年の解析事例を紹介する。	
	弾性力学特論	基礎的な2次元の弾性力学及び破壊力学に関する知識を習得させると同時に基本的な問題の解決能力を育成する。基礎的な2次元の弾性力学および破壊力学の講義、演習を行う。	
	腐食防食特論	本講義では、前半部分の第9回まで、材料と環境の化学的相互作用による劣化現象である腐食について、基礎的な考え方について理解を深め、腐食に及ぼす材料の特性と環境の特性の影響について講義する。後半については、学生が自ら資料をまとめ、発表を行い、質疑応答を行う輪講形式で進める。	
	材料加工学特論	CAE (Computer Aided Engineering) で広く用いられる有限要素法 (FEM) を学ぶ。汎用的な弾性有限要素法と塑性加工解析で良く用いられている剛塑性有限要素法の基礎理論を講義し、これらのコンピュータープログラムを作成する。	
	機械基礎工学特論Ⅰ	工学分野で重要な現象は、弾塑性体・熱流体など連続体力学理論や反応拡散理論、電磁気学理論や量子力学理論等、偏微分方程式で記述されることが多い。ここでは、機械工学分野において偏微分方程式で記述される物理現象を紹介すると共に、これらの偏微分方程式の様々な解法を習得する。なお、前学期の機械基礎工学特論Ⅰでは拡散型の偏微分方程式の解法を扱い、後学期の機械基礎工学特論Ⅱでは双曲型の偏微分方程式の解法を扱う。	
	機械基礎工学特論Ⅱ	工学分野で重要な現象は、弾塑性体・熱流体など連続体力学理論や反応拡散理論、電磁気学理論や量子力学理論等、偏微分方程式で記述されることが多い。ここでは、機械工学分野において偏微分方程式で記述される物理現象を紹介すると共に、これらの偏微分方程式の様々な解法を習得する。なお、前学期の機械基礎工学特論Ⅰでは拡散型の偏微分方程式の解法を扱い、後学期の機械基礎工学特論Ⅱでは双曲型の偏微分方程式の解法を扱う。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
プログラム専門領域科目 熱流体工学プログラム プログラム	熱工学特論Ⅰ	講義にて、熱と物質移動の支配法則や支配方程式を学び、講義で解説された例題を参考にしてそれらの意味を理解する。与えられた課題に対し、パソコンを援用してプログラミングを構築し、温度分布や濃度分布の図を作成するとともに、熱流束と拡散流速の値を求めて理解を深めるとともに、結果をレポートにまとめて提出する。レポートに対する教員からのコメントを参考に、理解をさらに深める。	
	熱工学特論Ⅱ	熱エネルギーの利用についてより専門性の高い理解を得るため、エンタルピーおよびエントロピーという関数について自由エネルギーによる理解を深める。熱力学が支配する現象について、熱力学テキストをもとに受講者に担当箇所を割り当てて持ち回りで説明を行う輪講形式で講義を進める。	
	移動現象特論	移動現象の基礎を学び、OpenFOAMによる熱・物質移動現象の解析方法を実習により学ぶ。熱・物質移動現象の数値解析方法を習得する。	
	流体力学特論Ⅰ	主に流体力学の中で、圧縮性流体を対象とした分野を扱う。また航空宇宙分野で扱われる流れがほとんど圧縮性流体であるため、その基礎となる理論を概説する。特に本講義は近年注目されているLCC等の航空機に結する基礎的な理論を習得するため、航空業界への就職には極めて有利な知識を得ることができる。	
	流体力学特論Ⅱ	先ず、空力弾性学や、翼理論発展の歴史についての概要を学ぶ。後半は、そのうちのどの部分に興味を持ったかを聴いた上、より深くあるいはより厳密な理論展開を行う。	
	乱流計測学特論	乱流流れ場の計測に関して、乱流流れの特徴、計測の不確かさ、A/D変換による計測信号離散化と信号処理による特性量抽出、流れ場の各種測定法およびセンサ、について解説する。主にゼミ形式(輪講形式)にておこなう。輪講形式なので特に説明担当の部分については、他者が理解できるような解説をするために受講者自身で内容を納得して十分な準備をしてほしい。	
	伝熱工学特論Ⅰ	伝熱工学の基礎およびその応用に関する資料について、受講者に担当箇所を割り当てて持ち回りで説明を行う輪講形式で講義を進める。また、適宜演習を行い、伝熱工学の諸問題における具体的な計算方法を学習する。	
	伝熱工学特論Ⅱ	エネルギーの有効利用において、特に重要となる沸騰熱伝達現象および熱交換器の内容をゼミ(輪講)形式で学ぶ。始めに沸騰伝熱現象の理解に必要な相変化等を伴う熱力学的な知識および熱交換器の複雑な伝熱現象の理解に必要な伝熱工学の基礎を講義形式で授業を行い。その後、下記教科書(英語)にて、沸騰熱伝達および熱交換器の応用をゼミ(輪講)形式で学ぶ。	
	流体機械学特論	流体エネルギーを機械エネルギーに変換する流体機械のなかでも、風力エネルギーを利用する風力発電について学ぶ。現在の風力発電について、製粉や揚水に用いられていたオランダ型風車(ウインドミル)から発達してきた歴史には、空気力学の発展も大きく関わっている。本講義では、翼まわりの流れと翼性能(揚力係数や抗力係数と迎角の関係、レイノルズ数の影響)を含めて、風車に関する空力理論(運動量理論、翼素理論、それらの複合理論)を学び、風車の設計や性能計算の方法を習得する。講義は輪講形式で進める。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
プログラム専門領域科目	多相多成分系の物理化学	「クラスレートハイドレート」と呼ばれる物質群を題材に、多相・多成分の系で起こる現象について物理化学の基礎から応用理論までを修得する。多相多成分系で各成分・各相の間で観測される複雑な現象について、講義・ミニテスト・レポートを通じて理解を深める。ミニテストは毎回行い、その回の内容について確認する。レポートは中間・最終の2回、与えられたテーマから一つを選択して作成する。	
	機械基礎工学特論Ⅰ	工学分野で重要な現象は、弾塑性体・熱流体など連続体力学理論や反応拡散理論、電磁気学理論や量子力学理論等、偏微分方程式で記述されることが多い。ここでは、機械工学分野において偏微分方程式で記述される物理現象を紹介すると共に、これらの偏微分方程式の様々な解法を習得する。なお、前学期の機械基礎工学特論Ⅰでは拡散型の偏微分方程式の解法を扱い、後学期の機械基礎工学特論Ⅱでは双曲型の偏微分方程式の解法を扱う。	
	機械基礎工学特論Ⅱ	工学分野で重要な現象は、弾塑性体・熱流体など連続体力学理論や反応拡散理論、電磁気学理論や量子力学理論等、偏微分方程式で記述されることが多い。ここでは、機械工学分野において偏微分方程式で記述される物理現象を紹介すると共に、これらの偏微分方程式の様々な解法を習得する。なお、前学期の機械基礎工学特論Ⅰでは拡散型の偏微分方程式の解法を扱い、後学期の機械基礎工学特論Ⅱでは双曲型の偏微分方程式の解法を扱う。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
知能機械システムプログラム専門領域科目	ソフト制御工学特論	最近のソフトコンピューティングを応用した制御工学を講義する。ソフトコンピューティングを構成する、ファジィ理論、ニューラルネットワーク、進化的計算法、それぞれについて基礎および応用を講義する。各理論について演習の時間も設けている。	
	自己組織系特論	専門書の内容を輪番で発表する。当番以外の受講生は活発に質問、議論することが求められる。そのため、毎回必ず一つ以上の質問をすることを義務付ける。輪講は朗読会ではない。絶対に専門書やメモの棒読みになってはいけない。内容や式変形を理解し、あたかも自分の研究結果であるかのように淀みなく説明し、質問にも鮮やかに答えなければならない。発表内容が不十分な学生には再発表してもらった場合がある。	
	制御数理特論	具体的な制御対象（倒立振り子や倒立振り子型移動ロボットなど）について、システムのモデリング（数式表現）から制御系の解析・設計および制御シミュレーション（または実験）までのプロセスについて学ぶ。	
	機械信号処理工学特論	画像処理工学の基礎理論や応用に関して講義する。受講者による輪講と各自で調べたアルゴリズム内容の解説発表を行ない、さらに、実際の画像処理アルゴリズムについてプログラミングを通して実装する演習を通して学習する。	
	知的制御工学特論	ニューラルネットワークや遺伝的アルゴリズムなどの知的・進化戦略手法の基礎理論や制御工学への応用に関して講義する。また、機械の制御問題に対して、モデルの設定、解析や制御系設計などの一連の流れについて、プログラミング演習を通して学習する。	
	機械基礎工学特論Ⅰ	工学分野で重要な現象は、弾塑性体・熱流体など連続体力学理論や反応拡散理論、電磁気学理論や量子力学理論等、偏微分方程式で記述されることが多い。ここでは、機械工学分野において偏微分方程式で記述される物理現象を紹介すると共に、これらの偏微分方程式の様々な解法を習得する。なお、前学期の機械基礎工学特論Ⅰでは拡散型の偏微分方程式の解法を扱い、後学期の機械基礎工学特論Ⅱでは双曲型の偏微分方程式の解法を扱う。	
	機械基礎工学特論Ⅱ	工学分野で重要な現象は、弾塑性体・熱流体など連続体力学理論や反応拡散理論、電磁気学理論や量子力学理論等、偏微分方程式で記述されることが多い。ここでは、機械工学分野において偏微分方程式で記述される物理現象を紹介すると共に、これらの偏微分方程式の様々な解法を習得する。なお、前学期の機械基礎工学特論Ⅰでは拡散型の偏微分方程式の解法を扱い、後学期の機械基礎工学特論Ⅱでは双曲型の偏微分方程式の解法を扱う。	



科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
電気エネルギー・システム制御プログラム専門領域科目	電力エネルギー変換工学特論	以下に述べるキーワードに関する要約発表を学生個人でおこなう。学生には各テーマに関するレポート作成を課す。 スマートグリッド、持続可能エネルギー、エネルギー変換、発電及びエネルギー貯蔵装置、分散型電源と集中制御、電力システムの動的性能、電力システムの計装および測定、電力システムの運用計画、電力システムの制御、スマートハウス・スマートビル、電気自動車とスマートグリッド、コジェネレーションと持続可能エネルギー、分散型電源の拡張計画と経済性	
	電気機器工学特論	直流モータの構造、動作原理ならび電力変換器を用いた駆動システムについて解説する。 授業は講義形式で進めるが、質問等を通して、講義中の議論に積極的に参加してもらう。	
	磁気物性工学特論	磁性材料の基礎特性とその工学的測定法の基礎を取り扱う。量子力学と磁気モーメント、磁気異方性、磁歪、磁区理論及び磁化過程について学習するとともに関連した測定法並びに磁性材料の磁気特性について議論する。	
	医用電子工学特論	本講義では、工学と医学の融合領域である医用電子工学と、生活支援工学について講義を行う。また近年の応用事例を紹介する。講義では小テストとプレゼンテーションを課す。プレゼンテーションでは医用電子機器、あるいは福祉機器の中から1つの機器を選択し、それに関する調査事項の発表を行う。	
	相対論的電磁気学特論	相対論的効果が無視できない領域での電磁気学を研究するためには特殊相対性理論を習得する必要がある。前半は基礎となるテンソルに慣れてもらう。さらに電磁気学に適用する。後半は特殊相対性理論を学ぶ。	
	電力システム解析特論	電力システムを安定かつ経済的に運用するために電気事業者では様々な電力システム解析ソフトウェアを利用しているが、出力結果を正しく解釈するためには、背後にある数値解析手法の特徴の理解が必要である。この講義では電力システムの解析に用いられる数値計算手法の特徴を学び、実装することで、各数値解析手法のパラメータがどのような影響を与えるのか、どのように大規模なシステム解析を行っているかを学ぶ。講義は、教科書に準じて進め、手法の説明を行った後に、Octaveによる実装を学ぶ。講義は原則として英語で行う。	
	パワーエレクトロニクス特論	三相インバータの原理ならびに瞬時有効無効電力制御法を学ぶ。インバータによるモータ駆動法を学ぶ。電力変換器の回路トポロジーと瞬時有効無効電力制御法に関する最新の技術内容を講義する。	
	プラズマ工学特論	プラズマの基本的な特性(デバイ遮蔽、ドリフト運動、磁気ミラー)やプラズマ中の電磁波の振る舞い、更にプラズマの工学的応用(プラズマCVD、プラズマエッチング、滅菌など)について輪講形式で授業を行う。	
	非線形制御特論	非線形制御システムについて講義する。非線形制御システムの幾何学的性質、安定性と制御リャプノフ関数、受動性や制御系設計について論ずる。講義形式で、非線形制御システムの幾何学的性質、安定性と制御リャプノフ関数、受動性や制御系設計などについて15回の授業をおこなう。	
現代制御特論	現代制御理論におけるシステムの表現法である状態方程式について学ぶ。またシステムの特徴である安定性、可制御性および可観測性について学ぶ。さらにシステムの実現法である平衡実現、最小実現について学ぶ。		

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
電子システム・デバイスプログラム プログラム専門領域科目	薄膜材料工学特論	薄膜の気相成長における形成機構やエレクトロニクス分野における薄膜材料の物性や作製方法について講義する。また、薄膜材料の応用についても講義する。講義形式は教科書の内容を輪講形式を中心に行い、それらの内容について学生と議論しながら進める。	
	量子計算機工学特論	次世代計算機のひとつである量子計算機は、量子効果を積極的に応用した計算機であり、その実現が期待されている。本講義では、量子計算機のソフトウェア及びハードウェアの原理とその応用に関して学ぶ。	
	VLSI システム設計特論	集積回路はすべての電子機器に組み込まれており、エレクトロニクスを支える最も重要な工業技術である。本講義では、VLSIシステムの設計原理を学ぶため、CMOS回路の基礎、性能評価、論理設計、レイアウトルールとレイアウト設計、VLSI設計ツールなどについて講義する。	
	光デバイス計測工学特論	現在の光通信のバックボーンを支える(受動/能動)光コンポーネントに関する基礎理論や応用に関する講義をする。光の物理量と動作理論に関して理解を深めるとともに、光コンポーネントの評価技術に関して学習する。	
	ディペンダブルシステム特論	耐故障システムについての知識を習得する。フォールトトレラント、フェールセーフ、及びフェールセーフの技術を理解し、安全なシステムの設計ができるようにする。 1. フォールトトレランスに関する基本的なスタンスについて、2. デジタル回路での耐故障システムについて、3. テスト技術と故障検出について、4. フェールオペラティブ、フェールセーフとフォールトトレランスについて、5. システム検証とディペンダブルシステムについて	
	無線通信システム特論	デジタル無線通信システムの基礎的な理論を学ぶ。デジタル無線通信システムの基礎理論のうち、特に、1: Multiple Access techniques, 2: Propagation and Noise, 3: Modulation, and 4: Coding について理解する。デジタル無線通信システムの基礎的な理論についてはSimon Haykin and Michael Moher 著 "Modern Wireless Communications" を用い、輪講を通して学ぶ。	
	画像処理工学特論	画像処理関係の研究の動向を理解する。画像の処理および画像の特徴を抽出するための画像解析の原理について理解する。画像処理関連の基本的な手法や原理と理解し、関連する国際学会について理解する。国際学会での論文を輪講して発表及び質疑討論を行う。画像処理関連技術がどのように応用を理解するために上記以外からの国際学会の論文輪講及び発表を行う。	
	情報通信論	近年、携帯電話は社会生活に必要な不可欠の存在になっているが、音声がどのようにデジタル情報に変換されて伝送されているかの基本原理を理解している人は皆無であろう。本講義では携帯電話、IP電話で用いられている音声分析、音声符号化方式について、Z変換やフィルタなどのデジタル信号処理の基礎理論から、L2ノルム最適化時系列解析方式である線形予測(LPC)分析、CELP音声符号化などの要素技術まで説明するとともに、国際標準化方式の説明を行う。さらに、音声強調、パケットロス隠蔽について説明を行う。また、外部の方をお招きし、最新技術に関する講演をして頂く。	
半導体工学特論	半導体工学は、電気電子工学の全分野で応用の基軸となる学問である。本科目の内容は、固体中の電子の運動とそれを応用した固体電子素子(p-n接合ダイオード、接合型トランジスタ、電界効果トランジスタ)の動作原理を修得し、パワーデバイスや光学デバイス、各種センサーなど、最新の研究についても学ぶ。講義は教科書を中心に進め、適宜、学術論文等を用いて知識を深め、演習問題により理解の確認を行う。		

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
電子システム・デバイスプログラム専門領域科目	真空工学特論	真空における諸現象を理解するとともに、真空装置の動作原理や半導体プロセスの現状について学び理解する。真空を利用した技術や現象について、講義、輪講、調査発表、討論する。	
	有機エレクトロニクス工学特論	近年、有機ELテレビなど、有機材料を主としたエレクトロニクス分野の発展が著しい。本科目では、有機エレクトロニクスデバイスに用いられる有機材料の電子構造、光物理、光・電子物性、有機エレクトロニクスデバイスの動作原理などを概説する。また、学生一人一人に有機エレクトロニクスに関連する論文を読ませ、その内容について、プレゼンテーションおよび討論させる。	
	信号処理システム特論	信号処理アルゴリズムのうち制御やシステム同定に関連の深い最適化アルゴリズムを理解する。各種の最適化アルゴリズムの原理、方法を理解し、それを問題に応用できる能力を取得する。各種のアルゴリズムについて解説し、学生に質疑応答しレポートを課す。	
	再構成型アーキテクチャ特論	FPGAやCPLD、粗粒度再構成型デバイスなどのデバイスアーキテクチャと、FPGAの基本的な設計フローについて理解する。FPGAをはじめとする再構成型デバイスの構成について講義で理解し、課題を経てRTLや高位合成によるFPGA設計フローと、組み込みソフトウェアの開発手法を学ぶ。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
社会基盤デザインプログラム専門領域科目	鋼構造物設計工学特論	鋼部材が持つ各種強度および耐荷力特性と鋼構造の力学的能力を基にした講義を中心とした授業を行う。また、強度算出に関しては、例題と演習にて理解を深める。	
	連続体力学特論	連続体を固体、液体、気体に大別した上で、それらに対する運動の支配方程式を新たに演繹し、相対性理論との融合、その応用を講義する。	
	流体数値解析特論	流体の数値計算を学ぶことを通して、流体力学の基礎、計算力学およびプログラミング技術を習得する。流体の数値計算手法の一種である粒子法の理論、応用、大規模計算。	
	地盤環境工学特論	授業は講義形式で行い、土と各種物質の移動、地下水の移動と浸潤作用などの各課題に関して、力学的・化学的・生物学的な観点に基づいて説明するとともに、これを数理モデル化し実務へと展開する方法論について講述する。また、講義の前半と後半の2回に分けてレポートを出題し、各種課題の理解向上を図る。	
	地域計画特論	今後、40年程度のグローバルな社会変化の予測と産業構造の変化を概観・理解すると共に、少子高齢化、人口減少時代を迎えた日本において、持続可能な地域づくりの方向性を考察・理解する。授業の進め方としては、参考図書の輪読と、各自のレポートによる発表をもとに、その内容について全員でディスカッションを行う。	
	環境防災計画学特論	自然災害及び自然・社会環境に係る課題について、近年の事例を取り上げ、計画論としてのとらえ方を説明する。その上で、個別の課題に対して学生自らが計画作成を試み、そのプロセスで適宜指導を行う。	
	鋼構造物診断工学特論	橋梁をはじめとする鋼構造物の健全度の判定に必要な各種計測手法、非破壊検査等について講義を行う。また、破壊力学を用いた構造物の余寿命評価等の事例を用いて講義する。	
	コンクリートの材料科学特論	コンクリートの硬化プロセスやコンクリート構造物に生じる劣化現象の多くは、化学的な機構に支配されている。本講義では、材料科学的な視点からコンクリートの特性や劣化現象について学ぶ。また、コンクリートの特性を理解した上で、劣化コンクリート構造物の調査・診断技術を学ぶ。	
	河川工学特論	洪水流を解くための水深積分型の流れの方程式、複雑な境界形状内の流れの解析に適した曲線座標系の流体運動の記述、および河床変動解析について講義する。	
	岩盤力学特論	岩盤力学は、連続体力学を基礎として、岩石学、地球物理学、材料学などの応用分野を持つ幅広い学際的なテーマである。基礎理論である、連続体力学から塑性理論までを理解した上で、岩盤構造物の力学的、解析的手法について学ぶ。	
数値計算力学特論	講義では、工学における計算力学の位置づけを学び、代表的な計算手法である有限要素法の基礎とCAEソフトウェアの一連の使用技術と結果に対する考察の方法を身に付ける。講義を中心に行うが、2回目のCAE体験と後半の3回ではコンピュータを使った演習を行う。また、有限要素法を学ぶとともにFreeFEM++を用いた有限要素解析プログラミングについても学ぶ。		

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
プログラム専門領域科目 建築学プログラム	建築設計技術者倫理	建築設計の実務者として意識しておくべき倫理観について、多様な事例や資料収集を通して学ぶ。実際の講義において学部学生を対象にした建築技術者倫理の中の演習計画及び課題の設定と講義の補助を行う。建築技術者倫理の講義及び講義中における学生によるディスカッションを行う際、この科目の受講者は担当教員の指示に従い、講義内容に適合する資料収集、演習計画、学生討論の際の司会及び議題誘導的な仕事を行う。	
	建築設計意匠特論	建築設計の意匠面における特徴について、地域・時代ごとに辿っていくことで、各建築が試みている取り組みと技法について講義する。対象建築物は、国内外の建築物とする。また、講義はセミナー形式で行う。	
	都市計画特論	コンパクト+ネットワーク、立地適正化計画、グリーンインフラ、防災とまちづくり、等の都市計画の最新のトピックを対象として、国の審議会レベルでの資料を輪読し、事例について調べるにより理解を深める。	
	構造解析学特論	梁の塑性挙動、梁-柱の塑性挙動、塑性解析と塑性ヒンジ理論、仮想仕事法と上界定理など建築構造物の崩壊時の終局強度および変形状態を知るための基礎となる建築物の塑性解析を講述する。	
	防災設計特論	住宅を設計する上で注意すべき地盤災害及び建築基礎構造の設計に関する基本的事項について理解できる。地盤工学に関する基礎的な知識と建築基礎構造の設計方法に関する基礎的な事項について修得させる。	
	コミュニティ空間計画特論	以下のテーマを基本とし、受講者の報告をもとに学術的な基礎情報および最新の課題について講義を行う。 集住とコミュニティ、生活関連施設と建築計画学の論理、沖繩の集落、伝統的空間のとらえ方とまちづくり、歴史的環境の継承、子どもの生活空間の課題と計画、地域環境と住空間、住み続けるまちづくりと市街地の持続的改善、災害時の避難および仮設の生活空間	
	環境騒音特論	騒音計を用いた環境騒音の測定及び評価について理解する。地域の音環境を騒音レベル及び主観評価、サウンドスケープの考え方をを用いた環境騒音評価手法について講義と実測調査を行う。	
	建築材料学特論	セメント・コンクリートを中心に最新の研究成果も踏まえて諸性質を学ぶとともに、コンクリート中への劣化因子の浸透拡散を差分法にてシミュレートして、耐久設計に反映できるようにする。建設物を構成する材料、主にセメント・コンクリートを中心にその諸性質について学ぶ。特に、建設物の長寿命化、コンクリートのレオロジーおよび建設材用への廃棄物の有効利用については理論と現状についても学ぶ。	
建設データマイニング特論	建築材料及び施工に焦点を当て、その生産効率の向上させるために必要なビッグデータ活用技術について概説する。また、データ活用技術の1つであるデータマイニングや機械学習の基礎及び簡単なプログラミング技術について学ぶ。		

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
プログラム専門領域科目 建築学プログラム	建築設計スタジオⅠ	現実社会における諸問題を前提として、提案力がある建築家を育成することを目的とし、建築設計業務を行う上で必要となる知識と技能を養うため、現実の敷地を想定して建築設計の演習を行う。	1級建築士資格受験のための実務経験科目
	建築設計スタジオⅡ	建築の計画と提案に対する社会的な要求とそれらを取り巻く制約を考慮した上で、発展的な社会的提案を目指した建築設計の演習を行う。	同上
	建築設備設計実務演習	空気調和, 給排水・衛生, 電気と大きく三分野に分けて基礎的な内容について実務演習を行う。各分野共に音対策の内容についても問題事例を通して発生のメカニズムについて解析を行う。	同上
	建築構造設計実務演習Ⅰ	地震災害, 地盤調査, 各種基礎の支持力理論について学ぶとともに, 直接基礎, 杭基礎, パイルド・ラフト基礎等の具体的な構造設計課題を与えて演習する。	同上
	建築構造設計実務演習Ⅱ	建築構造物の構造設計, 特にRC構造物の構造設計の実務において求められる構造計画の概念, 設計法の理論と手順, 実務設計の演習を行う。	同上
	建築設計実務演習Ⅰ	建築設計の実務を通して建築の設計業務に関する一連の実践的な知識と技術を学習する。	同上
	建築設計実務演習Ⅱ	建築設計業務及び施工監理に関わる一連の実践的な知識と技術を学習する。	同上
	建築設計実務演習Ⅲ	建築設計のスタートとなる計画段階から資金計画, 法的な規制等, 設計技術以外の実務を実践的に修得する。	同上
	建築法令制度実務特論	建築及び関連法に関する法制度について、実際の適用と事例を取り上げながら、制度の持つ特徴と問題点について講義するとともに、特定実務課題として検証する。	同上
	建築材料計画実務特論	建築物を構成する材料、主にセメント・コンクリートを中心にその諸性質について学ぶとともに、各種建築物を設計する際の材料に関する留意点を学ぶ。	同上
建築構造設計実務特論	RC造建築物の耐震設計法の概要を講義する。新耐震設計法, 耐震診断, 耐震補強法, 剛性率, 偏心率, せん断強度, 曲げ強度, 靱性, 保有耐力など現行の耐震設計法を学ぶ。	同上	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
プログラム専門領域科目	ソフトウェア工学特論	実際のシステムの巨大なソースを用い、プログラムを理解する能力を身に付ける。数十万行のソースを取り扱うためには、様々なツールが必要である。これらの検証ツールや、デバッグツール、テストツールの背後にある理論を研究することにより、大規模システム管理についての理解を深める。	
	確率モデル特論	現象表現のための確率モデルの概念を説明し、社会現象・自然現象・実験等における実例を紹介する。また、モデル化後の解析手法・予測手法についても講義する。テーマ選出・モデル化・解析・予測の実践を、個人活動とグループ活動を交えて行う。	
	人工知能特論	自然知能と人工知能の比較から知能について考察する。知能を表現する手段として、メタ思考とメタ知識について理解し、思考を組み立てることについて学ぶ。ゲームAIのキャラクター意思決定について、ルールベース、ステートベース、ビヘビアベース、タスクベース、ゴールベースのAI設計について学ぶ。学習、適応、進化の観点から成長するAIについて学ぶ。さらに、集団の知能についてその実現方法について学ぶ。	
	知能ロボット特論	知能は、脳機能、身体性、環境における相互作用から生まれ、適応、学習、進化を重ねることで形成される。本授業では、知能性、動作性、万能性、柔軟性、個性をもつ総合システムとしてのロボットに関し、様々な要素技術について多角的観点により理解し、それらの相互作用から形成される知能構成論を学ぶ。各回のテーマに従った研究論文の輪読形式で理解を進める	
	知能情報処理特論	本授業は、知能情報処理に対する理論と実践に分けて実施する。まず、曖昧な情報をうまく処理するためのファジィ理論、人間の脳の機能に真似た人工ニューラルネットワーク、生物の進化に学ぶ遺伝的アルゴリズムなどを駆使し、人間の判断や意思決定を合理的に行う知能情報処理について説明する。次に、3回のラボを通して、身近な問題に応用の一連の知能情報処理のプロセスを実践し、理解を深める。	
	生体情報処理特論	生体情報を工学的に計測する技術、および生体情報の解析方法を説明する。具体的には、計測の基盤となるアナログ回路(フィルタ、A/D変換)や画像取得方法、および解析の基盤となる信号処理(サンプリング定理、フーリエ変換、スペクトラム解析、デジタルフィルタ、補間法など)を概説する。さらに、カオスやフラクタルの概念に基づいた不規則な時系列信号の特徴解析の手法を概説する。また、グループワークにより生体電気信号の計測実験および時系列データ信号の解析を行い、実践的な生体情報処理技術の修得に取り組む。	
	プロジェクトマネジメント演習	プロジェクトマネジメントの理論を学習した後、実際に学部学生のプロジェクト演習においてプロジェクトマネジメントを経験することで、基本スキルを体験的に修得する。	
	実践演習 I	民間企業と協働開発した教材を用いて、システム開発における上流工程をPBL形式演習する。	
	実践演習 II	OSS開発に関する知識・スキルを座学&実習形式で学習する。本講義では第一線企業で活躍しているエンジニアによる最新のOSSに関する知識と、Java、PHP、Ruby等の開発スキルを学ぶ。	
	実践演習 III	民間企業、研究機関等において、システム設計・開発に関するプロジェクト演習を行う。	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
プログラム専門領域科目 知能情報プログラム	ワイヤレスシステム特論	現在のモバイル大容量通信を基礎とした無線通信システムを理解する。授業では最初に、このような無線通信システム設計を支えている信号処理・数学処理を解説し、どのようにシステムが構成されているかを理解する。特に現在主流となっている直交周波数分割多重 (OFDM) 方式の通信システムの構成をカバーする。また、デジタル通信の変調復調と合わせて必要とされるエラー訂正方式もカバーする。さらに、理解を深めるために、コンピュータを用いた信号処理実習を用いてのシミュレーションを実施する。最後に、最新の無線通信システムの概要をカバーする。	
	アルゴリズム特論	アルゴリズムの専門知識の理解を深めるとともに応用力を修得する。前半から中盤にかけては座学形式で理論的要素を講義する。後半は学術論文の紹介も含めながら、最近の応用事例、将来の方向性について議論を行う。	
	情報ネットワーク特論	1990年代以降のインターネットの急速な普及と、その上での多様なサービスの展開により、今日では、我々の社会生活において、インターネットは欠くことのできないライフラインとなっている。一方、発展途上国を含めたインターネットの全世界規模での普及により、IPv4アドレスの枯渇問題や通信トラフィック処理の高負荷問題、ルーティングテーブルの肥大化問題などが深刻化しつつあり、今後のさらなる普及・拡大が見込まれるインターネットにおいて、これらの問題解決は不可避となっている。また、近年のインターネットサービスでの中核となっているWebサービスとして、BlogやFacebook、twitterなどに代表されるSNSや、Youtubeやニコニコ動画などに代表される動画配信がある。これらのサービスは数百万～数億単位の利用者がいるが、膨大なサービス要求に耐え得るサーバー・ネットワークインフラは、キャッシュや分散化、クラウド化など様々な工夫によって実現されている。本講義は、学生がインターネットシステムの構築運用技術に必要となる、TCP/IPに基づくネットワークングに関する知識(Part 1)及びネットワークの設計技術に関するスキル(Part 2)を獲得することを目的とした講義を行う。	
	データマイニング特論	データから再利用可能な知識を掘り起こす一連のプロセスをデータマイニングと呼ぶ。本授業は以下2つのパートに分けて実施する。[Part 1]では、データマイニング・プロセスやプロセスの一手段である機械学習について輪読形式で理解を深める。[Part 2]では、最新の研究論文輪読を通して応用例について議論する。なお受講人数が少なく、一人あたりの担当回数が多くなりすぎる場合には、「Part 3 受講生自身の研究テーマを元にした応用検討」も行う。	
	マルチメディア情報処理特論	画像・デジタル信号・デジタルデータを中心とするマルチメディア情報は産業技術・製造・研究開発・娯楽・教育など様々な分野で利用されている。本講義では、人間の認知・理解・解釈の特性について学び、マルチメディア情報を効果的に活用するための基盤的知識を情報理論・心理学・データ工学等の側面からテキストを用いて考察していく。特に、認知心理的側面の具体的事例としてテキストの事例を使用して輪読する。なお、毎講義の冒頭で重要な概念・理論に関する英語原典資料を配付する。その後、テキストの記述について討論と発表を行う。	
	UI/UX 特論	ユーザインタフェース(UI)に関する基本的なソフトウェア、ハードウェアをはじめとして、仮想/拡張現実などの先進的UI、ユビキタス、ウェアラブルコンピューティング、ユーザビリティデザインやユニバーサルデザインといったデザイン手法などを網羅的に紹介する。また、人がコンピュータの生み出す情報から得られる体験(UX)について、UIのデザイン、実装を通じて体感的に理解する。	
	人工社会システム特論	人工社会の計算モデルに関する考え方を学び、マルチエージェントシミュレーション環境を実際に用いながら、モデルの設計、実装、結果の議論を行う。また、関連分野の比較的新しい文献を参照しながら、技術の有効範囲や課題についても議論を行う。	
	人間拡張工学特論	人間拡張工学(Human Augmentation)は、人間の知覚、認知能力、身体能力を工学的に拡張・支援する技術を様々な適応領域において学ぶ。VR, AR, HCI, ウェアラブル技術, テレプレゼンス・テレグジスタンス, ロボット, AI, などの技術トピックについて、どのように人間を拡張することができるのか、各回のテーマに従った研究論文の輪読形式で理解を進める。	



科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
プログラム 情報プログラム 専門領域科目	サービス工学特論	サービスシステムを数理モデルの立場から説明する。必要となる数学的知識（線形代数学、統計学、最適化手法等）を概説した上で、具体的なサービス事例（スタッフスケジューリング、レベニューマネージメント）のモデル化と解析を行う。また、サービス産業界のゲストスピーカーによる実践的な課題提起に対して、グループワークにより課題解決に取り組む。	
	並列処理特論	並列システムのハードウェアとソフトウェアの両方を関連付けながら、専門知識の理解を深める。前半から中盤にかけては座学形式で理論と技術要素を講義する。後半は学术论文の紹介も含めながら、最近の研究成果、将来の方向性について議論を行う。	



国立大学法人琉球大学 設置申請に関わる組織の移行表

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
<b>琉球大学</b>				<b>琉球大学</b>				
人文社会学部		3年次		人文社会学部		3年次		
国際法政学科	80	4	328	国際法政学科	80	4	328	
		3年次				3年次		
人間科学科	80	4	328	人間科学科	80	4	328	
		3年次				3年次		
琉球アジア文化学科	40	2	164	琉球アジア文化学科	40	2	164	
国際地域創造学部		3年次		国際地域創造学部		3年次		
国際地域創造学科（昼間主コース）	265	8	1076	国際地域創造学科（昼間主コース）	265	8	1076	
		3年次				3年次		
国際地域創造学科（夜間主コース）	80	12	344	国際地域創造学科（夜間主コース）	80	12	344	
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	140	—	560	学校教育教員養成課程	140	—	560	
理学部				理学部				
数理科学科	40	—	160	数理科学科	40	—	160	
物質地球科学科	65	—	260	物質地球科学科	65	—	260	
海洋自然科学科	95	—	380	海洋自然科学科	95	—	380	
医学部		2年次		医学部		2年次		
医学科	112	5	697	医学科	112	5	697	
保健学科	60	—	240	保健学科	60	—	240	
工学部		3年次		工学部		3年次		
工学科	350	20	1440	工学科	350	20	1440	
農学部				農学部				
亜熱帯地域農学科	35	—	140	亜熱帯地域農学科	35	—	140	
亜熱帯農林環境科学科	35	—	140	亜熱帯農林環境科学科	35	—	140	
地域農業工学科	25	—	100	地域農業工学科	25	—	100	
		3年次				3年次		
亜熱帯生物資源科学科	45	5	190	亜熱帯生物資源科学科	45	5	190	
計	1547	60	6547	計	1547	60	6547	

令和2年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
琉球大学大学院			
人文社会科学研究所			
総合社会システム専攻 (M)	17	—	34
人間科学専攻 (M)	16	—	32
国際言語文化専攻 (M)	12	—	24
比較地域文化専攻 (D)	4	—	12
観光科学研究科			
観光科学専攻 (M)	6	—	12
教育学研究所			
高度教職実践専攻 (P)	20	—	40
医学研究所			
医科学専攻 (M)	15	—	30
医学専攻 (D)	30	—	120
保健学研究科			
保健学専攻 (M)	10	—	20
保健学専攻 (D)	3	—	9
理工学研究科			
機械システム工学専攻 (M)	27	—	54
環境建設工学専攻 (M)	24	—	48
電気電子工学専攻 (M)	24	—	48
情報工学専攻 (M)	18	—	36
数理科学専攻 (M)	10	—	20
物質地球科学専攻 (M)	16	—	32
海洋自然科学専攻 (M)	26	—	52
理工学研究科			
生産エネルギー工学専攻 (D)	4	—	12
総合知能工学専攻 (D)	3	—	9
海洋環境学専攻 (D)	5	—	15
農学研究科			
亜熱帯農学専攻 (M)	35	—	70
法務研究所			
法務専攻 (P)	16	—	48
計	341		777

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
人文社会科学研究所				
総合社会システム専攻 (M)	17	—	34	
人間科学専攻 (M)	16	—	32	
国際言語文化専攻 (M)	12	—	24	
比較地域文化専攻 (D)	4	—	12	
観光科学研究科				
観光科学専攻 (M)	6	—	12	
教育学研究所				
高度教職実践専攻 (P)	20	—	40	
医学研究所				
医科学専攻 (M)	15	—	30	
医学専攻 (D)	30	—	120	
保健学研究科				
保健学専攻 (M)	10	—	20	
保健学専攻 (D)	3	—	9	
理工学研究科				
<u>工学専攻 (M)</u>	<u>93</u>	—	<u>186</u>	専攻の設置 (事前伺い)
数理科学専攻 (M)	10	—	20	
物質地球科学専攻 (M)	16	—	32	
海洋自然科学専攻 (M)	26	—	52	
理工学研究科				
生産エネルギー工学専攻 (D)	4	—	12	
総合知能工学専攻 (D)	3	—	9	
海洋環境学専攻 (D)	5	—	15	
農学研究科				
亜熱帯農学専攻 (M)	35	—	70	
法務研究所				
法務専攻 (P)	16	—	48	
計	341		777	